

令和４年度新たな体験活動推進事業【市町村モデルプログラム】

地域の様々な教育資源等を活用した「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った課題解決型の体験活動モデルプログラムを、それぞれの市町村で作成しました。

今後、学校等で実施する体験活動の参考にしてください。

◇◇市町村モデルプログラム◇◇

【水戸教育事務所管内】

1. 水戸市 P1	2. 笠間市 P3	3. ひたちなか市 P4	4. 常陸大宮市 P5	5. 那珂市 P6
6. 小美玉市 P10	7. 茨城町 P11	8. 大洗町 P12	9. 城里町 P13	10. 東海村 P14
11. 大子町 P15				

【県北教育事務所管内】

12. 日立市 P16	13. 常陸太田市 P17	14. 高萩市 P18	15. 北茨城市 P19
-------------	---------------	-------------	--------------

【鹿行教育事務所管内】

16. 鹿嶋市 P20	17. 潮来市 P21	18. 神栖市 P22	19. 行方市 P23	20. 銚田市 P24
-------------	-------------	-------------	-------------	-------------

【県南教育事務所管内】

21. 土浦市 P25	22. 石岡市 P26	23. 龍ヶ崎市 P27	24. 取手市 P28	25. 牛久市 P29
26. つくば市 P30	27. 守谷市 P31	28. 稲敷市 P32	29. かすみがうら市 P33	30. つくばみらい市 P34
31. 美浦村 P35	32. 阿見町 P36	33. 河内町 P37	34. 利根町 P38	

【県西教育事務所管内】

35. 古河市 P39	36. 結城市 P40	37. 下妻市 P41	38. 常総市 P42	39. 筑西市 P43
40. 坂東市 P44	41. 桜川市 P45	42. 八千代町 P46	43. 五霞町 P47	44. 境町 P48

※「地域の教育資源」を活用いただくための参考例として掲載しております。

※実際に各施設を利用する場合は、プログラムに記載されている施設等へ直接連絡のうえ、ご調整ください。

水戸市 マネー（キャリア）教育型プログラム①

	活 動 内 容	関 連 情 報	備 考
事前活動	各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『金銭だけに留まらない社会生活や職業観の育成を図るようにする。』 ○【お店屋さんごっこ】親子学習 ・お金ってなんだろう。 ・お金はどこからくるの。 ・どうやって働くの。 という疑問をお店屋さんになりきって体験し、「お金の大切さ」「働くことの楽しさ」「親への感謝の心」を親子で学ぶ活動を実施する。	◆茨城県水戸生涯学習センター 住所：水戸市三の丸1-5-38 茨城県三の丸庁舎3階 TEL：029-228-1313 「いばらきスクールサポート」 →講師派遣 〈キッズマネーステーション〉	SDGs 目標1・4 等 社会 算数 総合
1日目	地域で育てた食材を使って、ものをつくる活動を通して職業観の育成を図るようにする。 ○【もぎたてのりんごでアップルパイを作ろう】体験学習 ・りんご狩り ・アップルパイを作る グループ活動を通して、「主体的」「対話的」「深い学び」を実践する。 (宿泊) ○自分の役割に責任をもって行動する。 ○マナーを守る。	◆水戸市木葉下町りんご園 (与三郎庵) 住所：水戸市木葉下町1016-1 TEL：029-252-4360 ◆水戸市少年自然の家 住所：水戸市全隈町80-1 TEL：029-254-2200	家庭 理科 道徳 総合 宿泊人数 223人
2日目	「おこづかい会議」を通して『もらい方』『つかい方』『貯め方』を学びながら金銭感覚を高めるようにする。 【おこづかい会議】 ○ミニ芝居 …お金と歴史と役割 ○ワーク …おこづかい契約書作成 ○ディスカッション・発表 …お互いに作成したものを共有し金銭感覚を高める。	◆茨城県水戸生涯学習センター TEL：029-228-1313 「いばらきスクールサポート」 →講師派遣 〈キッズマネーステーション〉	社会 算数 国語
事後活動	これまで学んだ「マネー（キャリア）教育」を振り返りグループでまとめ、他者に伝えられるようにする。 ○プレゼン資料の作成をする。 ○授業参観等で保護者に向けて発表する。 ○家庭で「お金」と「仕事」を深める機会にする。 ○活動で記録した資料等は「キャリア・パスポート」に蓄積する。		国語科 社会科 総合

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを想定しながら体験活動に取り組む。
- お金には限りがあること、ニーズ（必要なもの）&ウォンツ（「ニーズ」に対する具体的な欲望）の概念を自発的に学べるようにする。

水戸市 マネー（キャリア）教育型プログラム②

	活 動 内 容	関 連 情 報	備 考
事前活動	各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『金銭だけに留まらない社会生活や職業観の育成を図るようにする。』 ○【お店屋さんごっこ】親子学習 ・お金ってなんだろう。 ・お金はどこからくるの。 ・どうやって働くの。 という疑問をお店屋さんになりきって体験し、「お金の大切さ」「働くことの楽しさ」「親への感謝の心」を親子で学ぶ活動を実施する。	◆茨城県水戸生涯学習センター 住所：水戸市三の丸 1 - 5 - 38 茨城県三の丸庁舎 3 階 TEL：029-228-1313 「いばらきスクールサポート」 →講師派遣 〈キッズマネーステーション〉	SDG s 目標 1・4 等 社会 算数 総合
1 日目	材料を児童自ら購入し、『生活設計能力』を育てるようにする。 ○【カレーの材料購入】体験学習 ・収支と支出のバランスについて 買い物計画表 } グループ別に持参して体験活動を 電卓 } 実践する。 ○【カレーを作る】体験学習 グループ活動を通して、「主体的」「対話的」「深い学び」を実践する。 （宿泊） ○自分の役割に責任をもって行動する。 ○マナーを守る。	◆カスミフーズスクエア水戸赤塚店 住所：水戸市河和田 1-1 TEL：029 - 309 - 7231 ◆水戸市少年自然の家 住所：水戸市全隈町 80 - 1 TEL：029-254-2200	家庭 算数 理科 道德 総合 宿泊人数 223 人
2 日目	「おこづかい会議」を通して『もらい方』『つかい方』『貯め方』を学びながら金銭感覚を高めるようにする。 【おこづかい会議】 ○ミニ芝居 …お金と歴史と役割 ○ワーク …おこづかい契約書作成 ○ディスカッション・発表 …お互いに作成したものを共有し金銭感覚を高める。	◆茨城県水戸生涯学習センター TEL：029-228-1313 「いばらきスクールサポート」 →講師派遣 〈キッズマネーステーション〉	社会 算数 国語
事後活動	これまで学んだ「マネー（キャリア）教育」を振り返りグループでまとめ、他者に伝えられるようにする。 ○プレゼン資料の作成をする。 ○授業参観等で保護者に向けて発表する。 ○家庭で「お金」と「仕事」を深める機会にする。 ○活動で記録した資料等は「キャリア・パスポート」に蓄積する。		国語 社会 総合

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを想定しながら体験活動に取り組む。
- お金には限りがあること、ニーズ（必要なもの）&ウォンツ（「ニーズ」に対する具体的な欲望）の概念を自発的に学べるようにする。

笠間市 ふれあい体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『笠間市の各地区の良さを知り、考えを発信しよう。』 (授業内容の例) ○3年 市のうつりかわり ○3年 きょう土の伝統・文化と先人たち ○4年 県内の伝とうや文化を生かした人々の暮らし ○5年 産業の様子と人々の暮らし	・各教科で関連する学習を行う。	社会総合 SDGs11 等
1日目	笠間市内施設等における自然体験活動を通して、課題を解決する。各グループで課題を設定する。 ※グループの課題や、受け入れ先の民家によって実施可能なプログラムが異なる。 (プログラム例) ○笠間地区 佐白山(笠間城跡)と笠間藩の歴史について ○岩間地区 愛宕山と自然を生かした農業について ○友部地区 市民農園での持続可能な農業について (宿泊) ○自分の役割に責任をもって行動する。 ○民家の協力を得ていることを自覚し、マナーを守る。	◆笠間ふれあい体験旅行推進協議会事務局 (笠間観光協会内) TEL : 0296-72-9222 https://kasama-fureai-taiken.com/index.html ◆事務局 : NP0 法人 笠間の魅力発信隊 〒309-1611 笠間市笠間 1538-2 (笠間観光協会内)	3～4 人／軒 200 人まで対応可能
2日目	笠間市内施設等における見学とまとめ学習を通して、課題を解決する。 ○施設見学を通して、笠間市の良さについて考えたことや気づいたことをまとめる。	◆茨城県陶芸美術館 TEL : 0296-70-0011 ◆笠間稲荷神社 TEL : 0296-73-0001 ◆筑波海軍航空隊記念館 TEL : 0296-73-5777 ◆ムラサキパークかさま TEL : 0296-71-9911 問い合わせ 笠間市教育委員会 教育部生涯学習課 TEL : 0296-77-1101	
事後活動	各自が設定した課題を解決し、笠間市の特徴と発展についての考えを発表する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○学年集会や全校集会における発表 ○他地域の学校との交流		

【活動における留意事項】

○地区ごとに体験する内容が異なるため、事務局や受け入れ先の民家との間で、事前の調整が必要になる。

ひたちなか市 豊かな海体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『ひたちなか市の「豊かな海」についての秘密を探ろう。』 (授業内容) ○なつとなかよし ○わたしの町はっけん ○私たちの生活と食料生産 ○縄文の国から古墳の国へ ○生物と地球環境 ○海に関する歴史、産業、環境等に目を向け、調べたい テーマの設定、課題解決のための計画 ○楽しく宿泊するためには(役割り分担、ルール等)	◆ひたちなか市教育委員会青少年課 TEL : 029-272-5883 ◆ひたちなか市教育委員会指導課 TEL : 029-273-0111 (代表) ・各教科に関連する学習を行う。	SDGs 目標 14 道徳 生活 社会 理科 家庭 特活 総合
1 日 目	那珂湊漁港及び阿字ヶ浦海岸における施設見学や自然体験活動を通して課題を解決する。 ○施設の見学・体験活動 ・干物作り ・那珂湊おさかな市場 ○海岸での体験活動 ・海岸遊び(砂での制作、貝殻や石拾い) ・塩づくり ・缶を使ったご飯づくり ・キャンプファイヤー(ランタン) (宿泊) ○自分の役割に責任をもって行動する。 ○自分たちで決めたルールを守る。 ○振り返りの場面を設定し、本日の発見や疑問を確認し、2日目の活動に繋げる。	(見学・体験) ◆ひたちなか商工会議所 那珂湊支所 TEL : 029-263-7811 (宿泊) ◆ひたちなか市観光協会 TEL : 029-273-0116 (阿字ヶ浦民宿等) ※活動時間、人数等要相談	SDGs 目標 2、 12、13、 14、 目標 8、 11
2 日 目	磯崎漁港や海岸及び施設の見学や自然体験活動を通して課題を解決する。 ○海岸での体験活動 ・磯崎海岸での磯遊び (白亜紀層についても話題にする) ○施設の見学 ・磯崎漁港 一口アワビの養殖 ・(株)あ印 タコの釜茹で ○魚食についての話を聞く「魚食面白文化」 ※活動時間、人数等要相談	◆ひたちなか市経済環境部水産課 TEL : 029-273-0111 (代表)	SDGs 目標 6、 13、14、
事後活動	各自が設定した課題を解決し、ひたちなか市の「豊かな海」で発見したこと、新たな疑問、私たちの生活との関係等、学んだことを振り返り、各自の考えを発表する。 ○作文、プレゼン資料等の発表資料の作成 ○学年集会、全校集会、保護者や地域に向けての発表や情報発信		国語 生活 社会 理科 特活 総合

【活動における留意事項】

○全体のテーマから、学校や教科としてのねらいを本活動の初めに投げかけておき、活動中、子供たちがねらいからずれないように、関わっている指導者はファシリテーター役となる。

【お問い合わせ先】ひたちなか市教育委員会青少年課 TEL : 029-272-5883 まずこちらに相談ください。

常陸大宮市 御前山ダム体験活動型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	児童生徒に各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『御前山ダムの役割を知り、ダム周辺の自然を学ぼう。』 (授業内容) ○「御前山ダム」の誕生とその役割について ○「自然豊かな環境に生息する希少な動植物」について(「常陸大宮市史」の活用)	○各教科に関連する学習を行う。 ・常陸大宮市の動植物について ・御前山ダムの役割 ・御前山ダムの歴史 ・ビオトープについて ・常陸大宮市の地質や遺跡について ◆常陸大宮市 〒311-2992 常陸大宮市中富町 3135-6 TEL：0295-52-1111 担当課：生涯学習課、地域創生課	SDGs 目標15等 理科 社会 総合 ※実施の場合には、早めに担当課に連絡。
1日目	御前山ダム環境センター周辺の自然体験活動をとって課題を解決する。 ○御前山ダム周辺の探索 ・御前山ダムの監査廊(ダムの堤体内部に備わる管理用の通路)見学 ・御前山ダム公園とダム周辺の遊歩道の散策 ・見晴らしエリアからダムの大きさを知る。 ○御前山ダム上流域に設置されたビオトープの探索 ・ビオトープ設置の目的と水没から免れた希少な動植物について ・ビオトープを作る上で、御前山ダムの周辺環境(生態系等)を守るために工夫したこと (宿泊) ○自分の役割に責任をもって行動する。 ○キャンプ場でのマナーを守って生活する。	◆御前山ダム環境センター 〒311-4615 常陸大宮市下伊勢畑 ◆農林水産省関東農政局那珂川沿岸農業水利事業所 〒310-0002 水戸市中河内町 960-1 TEL：029-227-7571 ◆御前山青少年旅行村(公営キャンプ場) 〒311-4615 常陸大宮市下伊勢畑 2370 TEL：0295-55-2222 【宿泊】15:00～翌日 10:00 【休憩】11:00～14:00	宿泊数 約200名 前後
2日目	御前山ダム湖アクティビティーによる自然体験をとって課題を解決する。 ○御前山ダム湖アクティビティー体験 ・ボートやカヌー体験を通して、湖面上からダムの大きさを体感する。	◆ストームフィールドガイド 〒311-4503 常陸大宮市野口 1151 TEL：029-251-7232 ※雨天決行(大雨で、川が増水した場合中止。) 【実施期間】5月～11月(実施月の20日にまとめて申請するため、毎月20日の前までに連絡。)	
事後活動	各自が設定した課題を解決し、御前山ダムやその周辺の状況を学び、郷土の保護や保全についての考えを発表する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○学年集会や全校集会における発表		

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを想起しながら体験活動に取り組む。
- 事後活動では、設定した課題をもとに体験で学んだことを関連付けながらまとめる。

那珂市 自然体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	児童生徒に各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『将来にわたり自然環境を持続させるために行動しよう。』 (授業内容) ○私たちの暮らしと関わり ○森林エネルギー ○自然の恵みでクッキング ○ものづくり ○自然の崇高さを知り、大切にすること ○茨城県の自然環境と土地利用	・横断的な学習とし、各教科に関連する学習を行う。 ・環境フェスティバル那珂への参加により、疑問を見つける。 ◆なか環境市民会議	SDGs 目標 13、15 理科 社会 道徳 総合 家庭 技術
1日目	静古徳古道における自然体験活動を通して課題を解決する。 ○自然体験活動 ・動植物の環境と観察について ・散策路まわりの自然について ・森林の様々な働きを学ぶ ・森林づくりと間伐体験 ○ノルディックウォーキング体験 (宿泊) ○自分の役割に責任をもって行動する。 ○マナーを守る。	◆なか自然の会 ◆古徳沼の自然を守る会 ◆静峰ふるさと公園 〒319-2106 那珂市静 1720-1 TEL : 029-298-1111 (商工観光課) ◆なか LuckyFM 公園 (那珂総合公園) 〒311-0121 那珂市戸崎 428-2 TEL : 029-297-0077 ※宿泊については、要相談	理科 社会 総合 技術 体育
	※その他の宿泊場所 ◆常陸太田市西山研修所 〒313-0041 常陸太田市稲木町 1699-8 TEL : 0294-72-0359 ◆水戸市少年自然の家 〒311-4161 水戸市全隈町 80-1 TEL : 029-254-2200		
2日目	自然に関わる施設での学びを通して課題を解決する。 ○自然体験活動 ・施設見学 (茨城県植物園、茨城県民の森、茨城県きのこ博士館) ・自然体験ツアー ・ネイチャーゲーム ・木工工作体験 (コースター作り、檜材箸作り) ・スラックライン体験 ・ひまわりオイルづくり体験	◆茨城県植物園 〒311-0122 茨城県那珂市戸 4589 TEL : 029-295-2150 Mail : info@ibaraki-shokubutuen.jp	理科 技術 体育 総合
事後活動	各自が設定した課題を解決し、学んだことから自然環境の保護や保全についての考えを発表する。また、これからの自然環境との向き合い方等の振り返りをする。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○学年集会や全校集会における発表、学園内交流 環境活動家講演会実施により、まとめとする。	◆Peach Other 茨城	国語 総合

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを想起しながら体験活動に取り組み、自らが答えを見つけ出していく活動とする。
- 様々な考えから学ぶこと、同じ考えに共感するなど、多様な考え方を認め合う活動とする。

【お問い合わせ先】※関係機関等に依頼の際には、こちらへお知らせください。

- ◆那珂市教育委員会生涯学習課 〒319-2192 那珂市瓜連 321 TEL : 029-298-1111 (内線 8282)

那珂市 防災体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	児童生徒に各教科で関連した学習等を通して課題を設定する。 全体テーマ 『災害時に自分とまわりの人たちの命と安全を守り抜くスキルを身に付けよう。』 (授業内容) ○日本における様々な自然災害 ○被災時に不足する栄養は何か ○避難所生活で優先されることは ○運動の効果 ○健康のための正しい食習慣・生活習慣	・横断的な学習とし、各教科で関連する学習を行う。 ・SDGs 目標についての学習を行う。 ◆大塚製薬株式会社 水戸出張所 「災害対策セミナー」 TEL:0120-303-088(代) ◆水戸ヤクルト販売株式会社 「おなか元気教室」 TEL:029-251-8960	SDGs 目標 11 社会 家庭 体育 保健 総合
1日目	災害を想定した防災体験活動を通して課題を解決する。 ○救命救急体験活動 ・普通救命講習会 ○防災体験活動 ・煙ハウス ・発電エアロバイク ・ペットボトルろ過機づくり ・ロープワーク ・ペットボトルランタンづくり等 ○キャンプ体験 ・ダンボールハウス、テント泊 ・野外炊飯活動 ○炊飯体験（ハイゼックス炊飯+缶詰） ○夜間防災体験活動 ・ライフラインストップ体験 ・目かくしロープつたい (宿泊) ○自分の役割に責任をもって行動する。 ○マナーを守る。	◆茨城県防災士会 ◆那珂市交通安全協会 ◆那珂市赤十字奉仕団 ◆各まちづくり委員会 ◆那珂市社会福祉協議会 ◆那珂市消防団 ※1日目の昼食は、避難してきた想定で、自宅から持参とする。 ※テント借用 水戸市少年自然の家 〒311-4161 水戸市全隈町 80-1 TEL:029-254-2200 ◆各小中学校	総合
2日目	災害を想定した防災体験活動を通して課題を解決する。 ○ラジオ体操 ○HUG（避難所運営ゲーム）	※朝食は菓子パンとバナナのような軽食とする。 ◆茨城県防災士会 ◆那珂市赤十字奉仕団 ◆各まちづくり委員会 ◆那珂市社会福祉協議会	体育 総合 家庭
事後活動	学んだことから、災害時の命を守るスキル等の考えを発表する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○学年集会や全校集会における発表、学園内交流 防災講演会等の実施により、まとめとする。	◆那珂市役所防災課等 ※地域防災運動会の開催	国語 総合 体育

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを想起しながら体験活動に取り組み、自らが答えを見つけ出していく活動とする。
- 様々な考えから学ぶこと、同じ考えに共感するなど、多様な考え方を認め合う活動とする。

【お問い合わせ先】※関係機関等に依頼の際には、こちらへお知らせください。

◆那珂市教育委員会生涯学習課 〒319-2192 那珂市瓜連 321 TEL:029-298-1111 (内線 8282)

那珂市 自分探し探求型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	児童生徒に自己の生き方を各教科で関連した学習や自身の様々な経験を通して課題を設定する。 全体テーマ 『自分探しをしよう。』 (授業内容) ○自分自身を見つめて、自分自身に関すること ○人とつながって、他の人との関わり ○社会人講話 ○職場見学 ○職場体験	・横断的な学習とし、各教科で関連する学習を行う。 ◆地域のロールモデル	SDGs 目標 3、4、 5、9、 10、 13、 16 総合 道徳 他
1日目	自分探しの旅を通して課題解決をすすめる。 ○自分に挑戦歩く会(水戸→那珂 15 km、那珂→常陸太田 15 km) 「水戸・那珂・常陸太田三市 30 km広域コース」 水戸駅→黄門神社→水戸城大手門→弘道館→根本正生家→清水洞の上公園→一の関ため池親水公園→阿弥陀寺→額田城跡→久昌寺→義公廟→西山荘 (宿泊) ○自分の役割に責任をもって行動する。 ○マナーを守る。 ○振り返りの場面の設定をする。	◆那珂警察署 ◆那珂市青少年相談員 ◆那珂市交通安全指導員 ◆各まちづくり委員会 ◆常陸太田市西山研修所 〒313-0041 常陸太田市稲木町 1699-8 TEL : 0294-72-0359	社会 総合
2日目	活動等を通して課題解決をする。 ○ASE 体験活動 ※ASE とは、Action (実際の活動)、Socialization (社会化)、Experience (体験) の略で、小集団で様々な身体的・精神的課題解決を通じ、社会性と集団成熟・自己成長を図る活動 トライ&エラー 一人では解決できない 正解がない ○炊飯体験	◆ASE指導者 ※講師相談 さしま少年自然の家(施設連携) 〒306-0416 猿島郡境町伏木 2095-3 TEL : 0280-86-6311	総合 道徳 体育 家庭
事後活動	各自が設定した課題を解決し、学んだことから将来の自分の姿等について発表する。 ○個人プレゼン資料の作成 ○学年集会や全校集会における発表、学園内交流 ○人間図書館の開催	※発表の場 那珂市立図書館 〒311-0105 那珂市菅谷 2995-1 TEL : 029-352-1177	国語 総合 道徳

【活動における留意事項】

- 歩く会を通して、仲間とともに様々な活動を最後までやり抜き、何事にも自信を持って取り組める力を育む。
- 自分や仲間との向き合い方に焦点をあて、人間関係を深める活動とする。

【お問い合わせ先】※関係機関等に依頼の際には、こちらへお知らせください。

◆那珂市教育委員会生涯学習課 〒319-2192 那珂市瓜連 321 TEL : 029-298-1111 (内線 8282)

那珂市 科学技術型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	児童生徒に自己の生き方を各教科で関連した学習や自身の様々な経験を通して課題を設定する。 全体テーマ 『よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、これからの産業と技術革新の基盤をつくろう。』 (授業内容) ○粒子・エネルギー ○科学技術と人間、エネルギーと環境 ○エネルギー変換の技術 ○産業から見た日本の特色 ○環境やエネルギー ○現代の日本と世界 ○職場体験	・横断的な学習とし、各教科で関連する学習を行う。 ◆かがくのたまご・サポーターズ TEL : 090-4968-9441 ※簡単な科学教室実施（小学生向け・人数要相談）	SDGs 目標 7、9 理科 社会 技術 総合
1日目	科学技術施設の見学を通して課題解決をする。 ○量子科学技術研究開発機構那珂研究所見学と科学実験 ・真空実験（自由落下、水、風船等） ・ミニロボットアーム ・偏光万華鏡づくり ・人口ダイヤモンドカット体験 ・リニアモーターカー模型体験 ・磁石浮遊体験 等 ※那珂研究所について ・実施希望日より3か月前を目安にお問い合わせください。 ・事前活動として、オンラインにて施設概況説明可能。また、HP動画視聴による事前活動可能。 ・受け入れ人数が多い場合には2日間に分けることもあります。 ・昼食場所の提供はしておりません。 ○夜間プログラム ・夜空の観察 ・人工衛星 (宿泊) ○自分の役割に責任をもって行動する。 ○マナーを守る。 ○振り返りの場面の設定をする。 ※その他の宿泊場所 ◆常陸太田市西山研修所 〒313-0041 常陸太田市稲木町 1699-8 TEL : 0294-72-0359 ◆水戸市少年自然の家 〒311-4161 水戸市全隈町 80-1 TEL : 029-254-2200 ◆茨城県立青少年会館 〒310-0034 水戸市緑町 1-1-18 TEL : 029-226-1388	◆量子科学技術研究開発機構 那珂研究所 〒311-0193 那珂市向山 801-1 TEL: 029-270-7213 Mail: naka_kengaku@qst.go.jp ◆なか・LuckyFM 公園(那珂総合公園) 〒311-0121 那珂市戸崎 428-2 TEL : 029-297-0077 ※宿泊については、要相談	理科 社会 技術 総合
2日目	IT機器の操作等を通して課題解決をする。 ○IT機器操作体験 ・プログラミング体験 ・ドローン操作 ○SDGsを考えよう ・SDGsカードゲーム	◆株式会社ソフナーズ 〒311-0107 那珂市額田南郷 1099-7 TEL : 029-295-8003	技術 理科 社会 総合
事後活動	各自が設定した課題を解決し、学んだことから産業と技術革新等について発表する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○HP掲載やマスメディアへの学習成果発信		理科 国語 技術 総合

【活動における留意事項】

○施設・事業所との連携体験学習を通して、これからの産業と技術革新について考え実践できる力を育む。

注 東海村の施設との連携・・・東海テラパーク、j-PARC、原子力科学館

【お問い合わせ先】※関係機関等に依頼の際には、こちらへお知らせください。

◆那珂市教育委員会生涯学習課 〒319-2192 那珂市瓜連 321 TEL : 029-298-1111 (内線 8282)

小美玉市 文化体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	文化体験活動に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『文化体験活動を通して新たな発見をしよう。』 (授業内容) ○視聴覚教材 「文化センター施設案内」(選択①)、「むかしの霞ヶ浦を知ろう」(選択②)、「ヨーグルトができるまで」(共通)などの視聴 ○文化体験活動に関連した資料の紹介	◆小美玉市生涯学習課 生涯学習係 TEL:0299-48-1111	SDGs 目標 4・17 等
1 日 目	(選択①) 文化センターについて学び、さまざまな文化体験活動を通じて新しい発見や課題を解決する。 四季文化館みのへれ ○文化センター施設見学 ○劇場のバックステージを体験する。 ・照明や音響機材の説明、体験など ○アート体験ワークショップを通じて文化を体験する。 ・和太鼓、演劇、デザイナーなど (選択②) 歴史について学び、体験ワークショップを通じて新しい発見や課題を解決する。 生涯学習センターコスモス ○史料館施設見学 ○古代歴史体験ワークショップを通じて文化を体験する。 ・勾玉づくり、土器の拓本づくりなど	◆小美玉市四季文化館 みのへれ 小美玉市部室 1069 TEL:0299-48-4466 ◆小美玉市生涯学習センターコスモス 小美玉市高崎 291-3 TEL:0299-26-9111	体験可能人数については、20人程度
2 日 目	伝統文化体験や小美玉市の特産物である乳製品について学び、新しい発見や課題を解決する。 ○伝統文化について学び、体験する。 ・茶道、華道、機織り、竹細工など ○乳製品について学び、体験する。 ・ヨーグルト工場見学(屋外) ・簡単なバター作り体験	◆やすらぎの里小川 小美玉市中延 1508-1 TEL:0299-58-4580 ◆小美玉ふるさと食品公社 小美玉市山野 1628-42 TEL:0299-56-6991	体験可能人数については、20人程度
事後活動	各自が設定した課題を解決し、文化センター・史料館施設や伝統文化、乳製品などについて学んだことを整理し、様々な文化体験活動を通じて新たに発見したことなどを発表する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○学年集会や全校集会における発表		

【活動における留意事項】

○事前活動で学習したことを考えながら学習や体験活動に取り組む。

茨城町 ラムサール条約登録湿地涸沼体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『ラムサール条約登録湿地の涸沼について学習しよう。』 (授業内容) ○「ラムサール条約とは」 ○「涸沼（汽水湖）とは」 ○「涸沼の生き物」	・各教科で関連する学習を行う。	社会 理科
1 日 目	涸沼における自然体験活動を通して課題を解決する。 ○涸沼における自然体験 ・イカダ乗り体験 ・伝統漁法見学（さし網漁等） ・シジミ汁の試食 (宿泊) ○自分の役割に責任をもって行動する。 ○マナーを守る。	◆ひろうら田舎暮らし 体験推進協議会 〒311-3125 茨城町下石崎 1560-16 TEL：090-9646-9775 ◆いこいの村涸沼 〒311-1401 鉾田市箕輪 3604 TEL：0291-37-1171	宿 泊 可 能 人 数 130 人 程 度
2 日 目	涸沼に関わる施設の見学を通して課題を解決する。 ○涸沼自然公園における自然体験 ・ボランティアガイドによる説明 ・涸沼の展望 ・自然探索 ・バーベキュー体験	◆涸沼自然公園 管理事務所 〒311-3124 茨城町中石崎 2263 TEL：029-293-7441	
事後活動	各自が設定した課題を解決し、涸沼等を学んだことから、自然や湖沼の保護や保全についての考えを発表する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○学年集会や全校集会における発表		

【活動における留意事項】

○事前活動で学習したことを想起しながら体験活動に取り組む。

大洗町 海っ子体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『海や川、湖などの水資源と私たちの生活は、どのような関係があるのだろうか。』	・各教科で関連する学習を行う。	SDGs 目標 14 社会 理科 総合
1 日 目	アクアワールド茨城県大洗水族館及び大洗キャンプ場における体験活動を通して課題を解決する。 ○海洋学習体験（アクアワールド茨城県大洗水族館） ・館内ウォークラリー ・バックヤード見学（100 円/1 人） ※ 1 ・ナイトツアー（要相談） ※ 2 ○キャンプ体験（大洗キャンプ場） ・スラックライン体験 ・焚火体験 ・ツリークライミング体験 ・テント設営 【雨天時：クラフト体験】 ・マリンキャンドル&マグネット (宿泊) キャンプ ※ 3 ・マナーを守る。 ・仲間と協力・決定していく力を身に付ける。	◆アクアワールド茨城県 大洗水族館 〒311-1301 大洗町磯浜町 8252-3 TEL：029-267-5151 ◆大洗キャンプ場 〒311-1301 大洗町磯浜町 8231-4 TEL：029-212-3121	※ 1 最大 120 名 (60 名 × 2 回) ※ 2 最大 60 名 ※ 3 最大 50 名 (それ以上は要 相談)
2 日 目	大洗の海における体験活動を通して課題を解決する。 ○水質環境学習体験（大洗サンビーチ） ※ 4 ・ビーチクリーン活動（マイクロプラスチック収集） ・クラフト体験（マイクロプラスチックを活用） ○漁業体験（大洗漁港） ・漁船に乗っての漁体験 ※ 5 ・職業講話（漁師の仕事、網の特徴、大洗の海 等） ※実施時間は午後 ※天候不良の場合は中止（態度決定：当日 9:00 頃） ※料金：¥50,000 円/1 隻（12 名） ※1 月は禁漁期間のため、実施不可 ※獲れた魚は持ち帰り可	◆大洗キャンプ場 〒311-1301 大洗町磯浜町 8231-4 TEL：029-212-3121 ◆大洗漁業協同組合 〒311-1301 茨城県東茨城郡大洗町磯 浜町字東 8253-10 TEL：029-266-2165	※ 4 100 名 程度 ※ 5 1 日最大 48 名 (それ以上は要 相談)
事後活動	各自が設定した課題を解決し、水資源と私たちの生活との関係等を学んだことを通して、郷土の保全や自己の生き方などについての考えを発表する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○全校児童や保護者、地域へ向けての発表	・各教科で関連する学習を行う。	SDGs 目標 14 社会 理科 総合

【活動における留意事項】

○事前学習で学習したことを想起しながら体験活動に取り組む。

城里町 サバイバルスキル獲得型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『非常時に活かせるサバイバルスキル(野外生活術)を協力し合いながら身につけよう！生きる力を育てよう。』 (授業内容) ○身近に起こった災害等について、地域の方々等に話を聞く。		SDG s 目標 15 等
1 日 目	キャンプ場での自然体験活動を通して課題を解決する。 ○キャンプ場での自然体験活動 テント設営、まきわり（ふれあいの里の伐採木を使用）、火起こしからの夕食作り、食材調達（魚のつかみ取り）、天文台（キャンプ場内）での天体望遠鏡による天体観測（天文同好会による星空解説） ・自分の役割に責任をもち、互いに協力しながら行動する。 ・マナーを守る。	◆城里町総合野外活動センターふれあいの里（体験場所及び宿泊施設） 〒311-4313 城里町上入野 4384 TEL：029-288-5505 ◆城里町健康増進施設 ホロルの湯（入浴・食事） 〒311-4314 城里町下古内 1829-3 TEL：029-288-7775	・体験可能人数については、50～60 人 ・入浴については、ホロルの湯を利用 ・1 日目昼、2 日目昼、弁当が必要であればホロルの湯で準備可能。
2 日 目	御前山における自然体験活動を通して課題を解決する。 ○御前山・那珂川地域案内人によるガイドツアー付き御前山登山 ・ネイチャービンゴ等で御前山の植物を調べる。（食べられる・食べられない植物、薬になる植物、危険な植物等）	◆城里町役場まちづくり戦略課商工観光グループ 〒311-4391 城里町石塚 1428-25 TEL：029-288-3111(代)	
事後活動	各自が設定した課題を解決し、災害発生時の対応方法等についての考えを発表する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○学年集会や全校集会における発表 ○保護者会や地域の方と交流する機会等での発表		

【活動における留意事項】

○事前活動で学習したことを想起しながら体験活動に取り組む。

東海村 歴史探検・探求型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『身近な地域の城（城跡）とその歴史を探ろう。』 （授業内容） ○県内の城の違いと時代背景について ・城の構造（平城，山城）や石垣，堀，土塁など ○城の周辺と地域性について ・食と住の文化など	・各教科で関連する学習を行う。	社会 総合 SDGs 目標 4
1 日 目	近隣市町村を巡り自分の目で見えて感じることを通して課題を解決する。 ○近隣市町村を巡る見学ツアー① ・石神城（東海村） ・額賀城（那珂市） ・笠間城ほか（笠間市）※一部立入禁止区域あり （宿泊） ○自分の役割に責任をもって行動する。 ○マナーを守る。	◆東海村生涯学習課 （歴史と未来の交流館） TEL：029-287-0851 ◆那珂市生涯学習課 TEL：029-298-1111 ◆那珂市歴史民俗資料館 TEL：029-297-0080 ◆笠間市生涯学習課 TEL：0296-77-1101 ◆笠間歴史交流館井筒屋 TEL：0296-71-8118 （宿泊） ◆水戸市少年自然の家 〒311-4161 水戸市全隈町 80-1 TEL：029-254-2200	宿 泊 可 能人数 約 200 名
2 日 目	○近隣市町村を巡る見学ツアー② ・水戸城（水戸市） ・県立歴史館（水戸市）	◆水戸市歴史文化財課 TEL 029-306-8132 ◆茨城県立歴史館 TEL：029-225-4425	
事後活動	各自が設定した課題を解決し学んだことについて発表する。 ○発表のための資料づくり ○学年集会や全校集会における発表 （例） ・甲冑体験（甲冑づくり） ・戦ゲーム実践 ・私の理想の城自慢コンテストなど		

【活動における留意事項】

○事前活動で学習したことを想起しながら体験活動に取り組む。

大子町 自然体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	大子町観光商工課職員による授業を聞き、課題を設定する。 全体テーマ 『自然の中で新たな大子町を見つけよう。』 ○町の魅力や特産品、様々な施設などの知識を得る。 (授業内容) 大子町の詳細・特産品・観光地等 ○何を体験して何を学びたいか、グループごとに課題を決定する。		SDGs 目標 4、11 総合 社会科
1 日 目	大子町の特産物の製造工程を体験をする。 ○奥久慈茶の里公園 ・手もみ、お茶摘み体験 ・こんにゃく作り体験 ・そば打ち体験 ○大子おやき学校 ・おやき作り体験 (宿泊) ○大子町営研修センター ・1日の振り返り ・ルールを守り、共同生活を学ぶ。	◆奥久慈茶の里公園 大子町大字左貫 1920 番地 TEL : 0295-78-0511 ◆大子おやき学校 大子町大字榎野地 2469 番地 TEL : 0295-78-0500 ◆大子町営研修センター 大子町大字北田気 662 番地 TEL : 0295-72-5815	SDGs 目標 4、8、 9、11、 12 総合 社会 家庭
2 日 目	自然の中での体験学習をする。 ○奥久慈憩いの森 ・探鳥会（野鳥観察） ・虫取り体験（夏季のみ） ・木工工作体験（竹とんぼ・巣箱・テーブル・椅子等）	◆奥久慈憩いの森 大子町大字高柴地内 TEL : 0295-76-0002	SDGs 目標 4、8、 9、11、 12、15 総合 社会 技術
事後活動	宿泊体験学習で学んだことや感想をまとめ、発表する。 ○グループごとに発表内容をまとめ、プレゼン資料を作成する。 ○全校集会等で発表をする。		SDGs 目標 4、11 総合

【活動における留意事項】

○事前活動で得た知識を、体験学習時にも確認しながら取り組む。

日立市 歴史探検体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	児童生徒に各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『日立の神社の「大祭礼」の秘密を探ろう』 (授業内容) ○「神峰神社の大祭礼とは」 ○「日立風流物と日立ささら」 ○「日立の民話、神話」 ○日立市郷土博物館、神峰神社の見学 ○令和元年の神峰神社大祭礼に関わった人から話を聞く。 ○「金砂神社磯出大祭礼とは」 ○平成 15 年の金砂大祭礼に関わった人から話を聞く。 ○大祭礼の「道」について ○大祭礼で行われる「田楽舞」について	・各教科に関連する学習を行う。 ◆日立市郷土博物館 〒317-0055 茨城県日立市宮田町5丁目2-22 TEL:0294-23-3231 ◆神峰神社 〒317-0055 茨城県日立市宮田町5丁目1-1 TEL:0294-21-0609 ◆宮田ささら保存会 ◆助川ささら保存会 ◆会瀬ささら保存会 ◆水木ささら保存会	SDGs 目標 11 国語 社会 道徳 総合
1 日 目	金砂神社磯出大祭礼に関わる講話や見学を通して課題を解決する。 ○西金砂神社の宮司の話を聞く。 ○西金砂、東金砂神社の田楽舞を見学する。 (保存会の舞または映像) (宿泊) ○自分の役割に責任をもって行動する。 ○マナーを守る。 ○互いを思いやり、共に協力し合う。	◆西山研修所(宿泊) 〒313-0041 常陸太田市稲木 1699-8 TEL:0294-72-0359 ◆西金砂神社 常陸太田市上宮河内町 1915 TEL:0294-76-9251 ◆東金砂神社 常陸太田市天下野町 9740 TEL:0294-85-1638	
2 日 目	金砂神社磯出大祭礼に関わる自然体験活動を通して課題を解決する。 ○実際に大祭礼のルートの一部を歩いてみる。	◆久慈浜～水木浜	
事後活動	各自が設定した課題を解決し、日立や常陸太田の歴史等学んだことから郷土の保護や保全についての考えを発表する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○学年集会や全校集会における発表 ○日立風流物人形の製作 ○田楽舞を継承する金砂郷地区の小学生との交流(オンライン)		国語 社会 総合 特別活動

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを想起しながら体験活動に取り組む。
- 地域の歴史を学び、伝統を守ってきた人々の思いを知ることを通して、これからの自分たちにできることについて考えていく。

常陸太田市 西山研修所を利用した防災体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『災害に遭ったとき、自分も他の人も助けられる人になるう』 ○地域で災害に携わった方のお話を聞く (例…2011：東日本大震災，2019：台風19号) ○災害について ○ハザードマップを活用し、身近な地域の状況を調べる。 ○マイタイムラインを作成する。 ○災害についての備えや、身に付けておきたい知識・スキルについて考える。	・各教科に関連する学習を行う。 ◆市防災対策関係課、消防本部 ・社会科副読本 ・ハザードマップ ・逃げキッド	総合 社会 理科 学級活動 SDGs 目標11
1日目	西山研修所における防災体験プログラムを通して課題を解決する。 ○非常食を持ってウォークラリー ○消防本部と連携した体験活動等（・は体験活動の例） ・防災に関する講話 ・水消火器による消火体験（天候によっては実施不可） ・煙道体験（天候によっては実施不可） ・119番への通報体験 ・心肺蘇生法（AEDの使い方を含む） ・段ボールベッド （宿泊） ○テントでの宿泊（5名×5張…最大25名） ・他者との連携・協働によるテント設営 ○建物での宿泊（8名×16部屋…最大128名）	◆常陸太田市西山研修所 (体験・宿泊) 〒313-0041 常陸太田市稲木町 1699-8 TEL：0294-72-0359 ※9:00～17:00 (月曜休館) ◆常陸太田市消防本部 〒313-0013 常陸太田市山下町1693 TEL：0294-73-1194 (消防課)	
2日目	西山研修所における防災体験プログラムを通して課題を解決する。 ○新聞やチラシを使った防災時に役立つ道具づくり 例：コップ、スリッパ ○火おこし体験 ・火おこしの方法 ・火を使つての調理 ・昼食	・火おこし体験キット	
事後活動	体験活動のまとめをする。 災害時への備えや、災害にあった時に自分や他の人が助かる手段について考えたことや学んだことを発信する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○全校集会や地域との交流機会などにおける、発表・スキルの伝達		

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを想起しながら体験活動に取り組む。
- 協力することの大切さを、活動を通して学習する。
- 活動を通して学んだことを、今後、他の人に広く伝えていくことで、多くの人の命を助けることにつなげる。

高萩市 「大和の森」 高萩スカウトフィールド防災体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『自然と防災～避難生活に備えて～』 (授業内容) ○「自然災害について学ぼう」 ○「災害時の生活について考えよう」 ○救急救命講習	・各教科で関連する学習を行う。 ◆高萩市消防本部 〒318-0014 高萩市東本町 3-11 TEL : 0293-22-0119	SDGs 目標 11 社会 体育 総合
1 日 目	スカウトフィールドにおける自然体験活動を通して、自然災害時の課題の解決を図る。 ○体験プログラム ・薪割り体験 ・火おこし体験 ・飯ごう炊さん ・ロープワーク ・テントの張り方 ○災害時に使えるグッズの作成 ・新聞紙スリッパ ・ポリ袋レインコート ・キッチンペーパーマスク など (宿泊) ○テント内での生活において仲間と助け合って行動する。	◆「大和の森」高萩スカウトフィールド (体験・宿泊) 〒318-0104 高萩市中戸川字菖蒲尻 412 TEL : 0293-44-3551 【プログラム相談先】 ◆公益財団法人ボーイスカウト日本連盟 〒167-0022 東京都杉並区下井草 4-4-3 TEL : 03-6913-6262	
2 日 目	スカウトフィールドにおける自然体験活動を通して、自然災害時の課題の解決を図る。 ○危機対策課と連携した体験活動等 ・非常食を体験 ・段ボールベッド	◆高萩市危機対策課 〒318-8511 高萩市本町 1-100-1 TEL : 0293-23-2215	
事後活動	自然の中で防災について体験したことや学んだことを発表する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○他学年に対してや全校集会での発表		社会 総合

【活動における留意事項】

- 事前学習で学んだことを生かしながら、体験活動に取り組む。
- 薪割りや火おこし等、危険を伴う活動に関しては、インストラクターの指示をよく聞くとともに、引率教員が見守る。

北茨城市 地域の文化・特産体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	児童生徒に各教科で関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『世界かんがい施設遺産「十石堀」と現在の生活にはどのようなかかわりがあるか調べよう』 〈授業において〉 ○「十石堀とは」 ○「米づくりのさかんな地域」 ○「市の大地に水を引く」 ○「北茨城市で働く人々と私たちの暮らし」 ○米づくり（オリエンテーション、田おこし、代かき、田植え、観察）	・各教科で関連する学習を行う。 ◆地域の農家	SDGs 目標 15 社会 総合
1 日 目	十石堀探索活動を通して課題を解決する。 ○十石堀探索活動（雨天時：陶芸…天心焼茶碗） ・十石堀ウォーク活動 ・十石堀周辺の植物について ○かかし作り ・グループでかかし作り （宿泊） ○共同宿泊を通して基本的な生活習慣や公衆道徳などの体験を積み、互いを思いやり、共に協力し合うなどよりよい人間関係を築く。	◆十石堀講師（茨城県ふるさと水と土指導員） ◆社会福祉協議会（老人会）〒319-1542 北茨城市磯原町本町 2-4-16 TEL：0293-42-0782 ◆マウントあかね 〒319-1538 茨城県北茨城市華川町小豆畑 2747 TEL：0293-30-0607	※R5 改修工事のため日程等要相談
2 日 目	林業体験を通して課題を解決する。 ○林業体験 ・森林の働きについて ・丸太切り体験 ・測量体験 ・はし作り	◆県北農林事務所林務部門林業振興課 常陸太田市山下町 4119 TEL：0294-80-3370	
事後活動	各自が設定した課題を解決し、十石堀周辺の成り立ち等学んだことから郷土の発展や地域資源についての考えを発表する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○学年集会や全校集会における発表 ○稲刈りした米を林業体験で作ったはしで実食 ○日本にある世界かんがい施設遺産地域の学校との交流	日本にある世界かんがい施設遺産数：47	国語 社会 家庭 総合

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを想起しながら体験活動に取り組む。
- 雨天時は、十石堀探索の代わりに陶芸体験で茶碗作りに取り組む（前日までに判断）。
- 子供の思考を生かした学習になるようにつぶやきや発想を取り上げるようにする。

鹿嶋市 スポーツ体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科で関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『誰もが楽しめるスポーツ体験活動を通して絆を深めよう』 (授業内容) ○日頃行っていない様々なスポーツ活動(パラスポーツ含)の種類やルールを調べる。 ○いつ・どのような人が・どのような目的で行っているのか調べる。 ○総合型地域スポーツクラブ「かしまスポーツクラブ(KSC)」の指導員とオンラインでつながる。	・各教科で関連する学習活動を行う。 ◆NPO 法人 かしまスポーツクラブ (KSC) 〒314-0014 鹿嶋市光1番地 高松緑地管理事務所 TEL: 0299-82-9042	体育 社会 道徳 総合 特活
1日目	総合型地域スポーツクラブ「かしまスポーツクラブ」の指導員やシニアの方々との交流をしながら、スポーツ体験を通して課題を解決する。 ○屋外会場：ト伝の郷運動公園 ○屋内会場：カシマススポーツセンター ●雨天時：カシマススポーツセンターサブアリーナ ＜実施可能なスポーツ活動＞ ・グラウンドゴルフ・輪投げ・スポーツチャンバラ ・ディスゲッター・ユニカール・ボッチャ ・スポーツ吹矢 など (宿泊) 白浜少年自然の家へ移動 ○キャンプファイヤーを行うことで、仲間との絆づくりの一助としていく。 ○ルールやマナーを守る意味や大切さを考えられるようにする。	◆ト伝の郷運動公園 〒314-0007 鹿嶋市神向寺 55-1 ※8:30～21:00 ◆スポーツ複合施設 カシマススポーツセンター 〒314-0007 鹿嶋市神向寺 23-2 ※9:00～21:00 ◆茨城県立白浜少年自然の家 〒311-3823 行方市白浜 1466 TEL: 0299-73-2345 ※9:00～17:00	 体育 道徳 総合 特活
2日目	(昼食) ○地元農家産の野菜を使用したカレー作りを行う。 ○役割分担の大切さや助け合うことの大切さに改めて気付く。	◆茨城県立白浜少年自然の家	家庭 道徳 総合 特活
事後活動	各自が設定した課題を解決し、スポーツ体験を通して学んだことを発表する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○かしまスポーツクラブの方々にオンラインで発表 ○学校内で発表 ○他地域の学校や施設との交流		 道徳 総合 特活

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したこと、調べたことを想起しながら活動に取り組む。
- パラスポーツ体験を通して、共生社会の実現に向けた啓発活動について考えられるようにする。
- 仲間との絆づくりはもちろんだが、指導員やシニアの方々との交流を通して、地域人財の活用に対しても考えを深められるようにする。

潮来市 環境学習型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科に関連した学習を通して、課題を設定する。 全体テーマ 『自分たちが環境を守るためにできる取組や心がけについて考え、実践しよう』 ○社会科の授業において、国土の保全や水資源の涵養、地球温暖化の抑制など、人々の生活によって重要な役割を果たしている森林資源を守るため、様々な取組があることを理解する。 ○森林・林業体験学習(校内体験型)を活用し、森林のはたらきについての知識・理解を深める。	◆茨城県農林水産部 林政課森づくり推進室 TEL 029-301-4021	社会 理科 総合 特活
1日目	これまでに学習したことをもとに、課題を設定する。 体験をととして、環境を守るための取組について理解をより深めよう。 《体験活動①》森林資源について学ぶ。 【水郷県民の森】@潮来市 ●総面積 51.5ha の広大な園内に、コナラやクヌギの雑木林のほか、シイやカシなどの照葉樹が見られる貴重な平地林となっている。 ○森林資源について理解を深める。 ①自然や森林を守る大切さについて学ぶ。 パネル展示、施設職員による講話 ②園内の散策 施設職員からの説明を聞きながら、園内を散策する。 《体験活動②》自然と生態系の関係について学ぶ。 ○園内を観察しながら指導員の説明を聞き、自然と動植物の関係について理解を深める。 【水郷トンボ公園】@潮来市 ●霞ヶ浦の水質浄化・環境保全・環境教育などの目的で河川敷に造ったビオトープであり、自然の生態系の仕組みを理解する学習の場となっている。 【環境学習施設 エコ・ハウス】@鉾田市 ●地球温暖化対策の様々な技術を導入した環境学習施設で、自然観察や体験学習ができる。	◆水郷県民の森 潮来市島須 3072-83 ※学習内容により選択する。 ◆水郷トンボ公園 潮来市福島地先 ◆鉾田市環境学習施設 エコ・ハウス 鉾田市安塚地先 ◆茨城県立白浜少年自然の家 〒311-3823 行方市白浜 1466 TEL:0299-73-2345 ※9:00～17:00	 
2日目	《体験活動③》体験活動をととして、自然環境について考えを深める。 【水郷県民の森】@潮来市 ○森林・林業体験学習事業(現地体験型)を活用した体験活動を行う。 ①森林の働き等の講義 ②森林作業体験等 丸太切り体験、間伐体験、枝打ち体験等	◆茨城県農林水産部 林政課森づくり推進室 TEL:029-301-4021 ◆鉾田林業指導所 TEL:0291-33-4123	社会 理科 総合 特活
事後活動	学習したことをまとめ、提言(発信)する。 ・自分たちにできることを考え、提言(発信)する。 (市環境課、学校HP、各施設掲示板) ・自分たちにできることを実践する。		

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを想起しながら体験活動に取り組む。
- 提言(発信)に見通しをもてるように体験活動の振り返りをしっかりと行う。

神栖市 工場・防災体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科で関連した学習を通して、課題を設定する。 全体テーマ 『未来のために私たちができること』 ○SDGs とは何か ○工業生産を支える人々 ○人々を災害から守る	・各教科で関連する学習を行う。 ・既習内容を振り返る。	国語 社会 道徳 総合 特活等
1日目	防災施設の見学や施設に働く人たちの話を聞いて、課題を解決する。 ○神栖防災アリーナの見学 ・災害に備えた準備 ・災害に対応する施設の工夫 工場見学や工場に働く人たちの話を聞いて、課題を解決する。 ○花王 鹿島工場の見学 ・工場における SDGs に対する取り組み (宿泊) ○係活動等では、自分の役割に責任をもって行動する。 ○施設で決められたマナーを守る。 ○集団行動を意識する。	◆かみす防災アリーナ 〒314-0127 神栖市木崎 1219-7 TEL : 0299-77-5400 ※9:00～21:00 ◆花王 鹿島工場 〒314-0103 神栖市東深芝 20 TEL : 0299-93-8311 ※8:30～17:00 ◆茨城県立白浜少年自然の家 〒311-3823 行方市白浜 1466 TEL : 0299-73-2345 ※9:00～17:00	国語 社会 総合 特活等 11 住み続けられるまちづくりを 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を
2日目	工場見学や工場に働く人たちの話を聞いて、課題を解決する。 ○日本製鉄 東日本製鉄所の見学 ・工場における SDGs に対する取り組み	◆日本製鉄(株) 東日本製鉄所鹿島地区 〒314-0014 鹿嶋市光 3 TEL : 0299-90-3616 ※8:30～17:00	国語 社会 総合 特活等 9 産業と技術革新の基盤をつくろう 13 気候変動に具体的な対策を
事後活動	体験学習を通して学んだことから、各自が設定した課題を解決し、自分の考えを発表する。 ○これまでに学習したことや体験したことをまとめる。 ○活動を通して気付いたことや疑問について話し合う。 ○学習を通して学んだことをグループや学級で発表し合う。		国語 社会 総合 特活等

【活動における留意事項】

- 事前活動で学んだことを想起しながら活動する。
- 学んだことを日常生活に生かせるようにする。

行方市 歴史探究学習型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	児童生徒に各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『行方市の歴史を探ろう』 (授業内容) ○「行方市内の文化財について知ろう」 ○「行方市の史跡めぐりをしよう」	・各教科に関連する学習活動を行う。	社会 総合 特活
1 日 目	行方市における文化財、史跡を調べたり、実際に訪れたりする活動を通して、課題を解決する。 ○行方市の文化財マップを活用し、歴史や自然、文化財についてスマートフォンやタブレットPCを使って、自主的に調べたり、ふれたりしようとする。 (立て看板へのQRコード掲載及び説明動画の配信を視聴し、理解を深める) (宿泊) ○自分の役割に責任をもって行動する。 ○キャンプファイヤーで仲間との絆を深め、今後の交流につなげる。 ○ルールやマナーを守る。	◆行方市内指定文化財 ・国指定・・・ 2カ所 ・県指定・・・ 13カ所 ・市指定・・・ 70カ所 ◆茨城県立白浜少年自然の家 〒311-3823 行方市白浜 1466 TEL:0299-73-2345 ※9:00～17:00	社会 総合 特活 
2 日 目	史跡を訪れ、課題を解決する。 ○地域の歴史や自然、文化財についての地域や理解を深め、行方市に愛着をもつようにする。 (昼食) ○行方市の朝採れ野菜を使って、仲間とカレー作りを行う。 ○地元農家の方との交流を行い、地元野菜の新鮮さや美味しさにあらためて気付く。	◆史跡 ・三味塚古墳 ・西蓮寺 ・麻生藩家老屋敷 等 ◆茨城県立白浜少年自然の家	社会 理科 総合 特活 家庭 
事後活動	各自が設定した課題を解決し、行方市の歴史について学んだことから郷土の保護や保全についての考えを発表する。 ○グループごとにプレゼンテーション資料の作成 ○学年集会や全校集会、学校運営協議会等での発表 ○他地域の歴史的な文化財保有地域の学校、施設との交流		社会 総合 特活 

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したこと、調べたことを想起しながら活動に取り組む。
- 朝採れ新鮮野菜の美味しさにあらためて気づけるようにし、持続可能な農業について考えられるようにする。

銚田市 食料生産型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『将来にわたり持続可能な食料生産をするためには、どんなことができるだろうか』 (授業内容) ○食料自給率の低下 ○日本の農業・漁業が抱える課題	・各教科で関連する学習を行う。	社会 総合 特活 
1日目	農業体験活動を通して課題を解決する。 【体験活動】農業について学ぶことで、農業の現状や課題を理解する。 ○収穫体験や各作業 ・季節ごとの野菜や果物の種まき・手入れ・収穫 ・田畑の耕作や畑の草取り ・事業者へのインタビュー 【体験活動】6次産業化している農業事業所について理解する。 ・事業所の見学 ・事業者へのインタビュー (宿泊) ○自分の役割に責任をもって行動する。 ○マナーを守る。	◆銚田市農業振興課 〒311-1592 銚田市銚田 1441-1 TEL:0291-36-7651 ◆JA なだろう 〒311-1521 銚田市飯名 537-1 TEL: 0291-34-8888 ◆とちぎ海浜自然の家 〒311-1412 銚田市玉田 336-2 TEL:0291-37-4004	社会 理科 総合 特活 
2日目	漁業体験活動を通して課題を解決する。 【体験活動】漁業について学ぶことで、漁業の現状や課題を理解する。 ・地引き網体験 ・漁業関係者へのインタビュー 【体験活動】育てる漁業を理解する。 ・栽培漁業センターの見学 ・センター職員へのインタビュー	◆銚田市商工観光課 〒311-1592 銚田市銚田 1441-1 TEL:0291-36-7655 (石崎丸： 銚田市滝浜 328-12) ◆茨城県栽培漁業センター 〒314-0012 鹿嶋市平井 2287 TEL:0299-83-3015 ※10:00～16:00	社会 理科 総合 特活 
事後活動	各自が設定した課題を解決し、体験活動で学んだことをもとに、提言、発信する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○学年集会や全校集会における発表		国語 総合 特活

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを想起しながら体験活動に取り組む。
- 体験活動のふり返りをしっかり行う。

土浦市 湖沼環境学習型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	よりよい郷土を築いていくことに関する学習課題を設定する。 全体テーマ 『美しい霞ヶ浦を取り戻すために、私たちは何をすべきなのだろうか』 ○土浦市立博物館出前講座 ・講義「霞ヶ浦の歴史」について	課題作りのための事前学習 ◆土浦市立博物館 〒300-0043 土浦市中央 1-15-18 TEL:029-824-2928	SDGs 目標 6、14 社会
1 日 目	霞ヶ浦や湖沼環境の関連施設での体験活動を通して課題を探究する。 ○遊覧船による湖上体験学習 ・透明度や水質の測定 ・プランクトン観察 ○霞ヶ浦環境科学センター見学 ・展示物の見学 ・講義「霞ヶ浦の汚れの原因」 ○環境に配慮した野外炊飯 ・霞ヶ浦に関連した特産物を使い、環境に配慮しながら野外炊飯	◆ラクスマリーナ（ホワイトアイリス号） 〒300-0033 土浦市川口 2-13-6 TEL:029-822-2437 ◆霞ヶ浦環境科学センター 〒300-0023 土浦市沖宿町 1853 TEL:029-828-0960 ◆茨城県立中央青年の家 〒300-4101 土浦市永井 987 TEL:029-862-3500	SDGs 目標 6、13、 14、15 社会 理科 家庭 宿泊可能 人数 200 人程 度
2 日 目	霞ヶ浦や湖沼環境の関連施設での体験活動を通して課題を探究する。 ○下水処理場見学 ・汚水の処理方法や環境負荷を減らすための工夫について ○環境保全・水質保全のための施設見学 ・浚渫船（しゅんせつせん）や離岸堤などの見学、解説 ○生き物採取体験 ・水辺の魚や昆虫を網などで採取して観察、解説	◆霞ヶ浦浄化センター 〒300-0032 土浦市湖北 2-8-1 TEL:029-826-5350 ◆霞ヶ浦河川事務所土浦出張所 〒300-0822 土浦市蓮河原町 4497 TEL:029-821-2155 ◆霞ヶ浦環境科学センター	SDGs 目標 6、11、 12、13、 14、15 理科 社会
事後活動	湖沼環境について学んだことから、郷土の自然環境の保護や保全についての自分の考えをまとめ、表現する。 ○グループごとにテーマを決めて、体験を通して学んだこと、考えたことをまとめ、「霞ヶ浦の水質浄化ポスター」を作成 ○ポスターにこめた願いをポスターセッションで発表 ○子供たち自身で、地域の施設にポスターの掲示依頼 ○「霞ヶ浦水質浄化ポスターコンクール」に出品	○ポスターセッション ○社会参画 ◆霞ヶ浦水質浄化ポスターコンクール	SDGs 目標 6、11、 12、13、 14、15 図工 美術 道徳 国語 社会

【活動における留意事項】

- 地域のよさとともに、地域の課題に目を向けられるようにする。
- 地域の課題を解決するために、自分達ができることを探究していく学習の流れを大切にする。
- 学び、考えたことをアウトプットする学習や、地域社会に働きかける学習活動を取り入れる。

石岡市 筑波山地域ジオパーク体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科で関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『「大地の公園」である筑波山地域ジオパークの秘密を探ることで、新たな石岡の魅力を発見しよう』 ○「筑波山地域ジオパークってなんだろう？」 (ジオパーク専門員による出前授業が可能) ○「石岡の大地（自然）と地域資源の関係」 (ジオパーク専門員による出前授業が可能) ○「日本の国土と人々の生活との関連」 ○「土地のつくり」	- 各教科で関連する学習を行う。 - 出前授業をご希望する場合は「筑波山地域ジオパークホームページ」を参照 ◆筑波山地域ジオパーク推進協議会事務局 TEL:029-883-1111 (代表) FAX:029-868-7615	国語 社会 理科 道德 総合 特活
1 日 目	筑波山地域ジオパークで石岡の大地と地域資源との関係を知り、郷土の保護や保全についての課題を解決する。 ○龍神山と常陸風土記の丘を巡り、自然と古代の人々の暮らしの関わりを知る現地研修 (行程案) 龍神山ハイキング、常陸風土記の丘	ガイドをご希望する場合は「筑波山地域ジオパークホームページ」を参照 ◆筑波山地域ジオパーク推進協議会事務局本部 TEL:029-883-1111 (代表) FAX:029-868-7615	対応可能 人数 40人程度
2 日 目	現地研修で見つけた気づきや新たな疑問について龍神山地域のフィールドワークを通して、課題を解決する。 ○市内の自然・文化施設等の見学 - 龍神の森キャンプ場 - 常陸風土記の丘 等	◆石岡市教育委員会生涯学習課 TEL:0299-43-1111 (代表) FAX:0299-43-1117	
事後活動	各自が設定した課題を解決し、郷土の保護や保全について学んだことや考えたことを、まとめ、発表する。 ○各自やグループごとにプレゼン資料を作成する。 ○クラス、学年集会、全校集会等における発表 ○自分たちの住んでいる地域の保護や保全について考えを深める。		

【活動における留意事項】

- 活動に係るバスの手配や移動行程の作成、活動場所（昼食時や雨天時の対応含む）の確認、移動および活動時の安全管理等については、各学校の責任において実施するものとする。
- 筑波山地域ジオパーク推進協議会や石岡市教育委員会生涯学習課と学習のねらいや活動の流れについて事前に打ち合わせをする。

龍ヶ崎市 市内大学との連携型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科で関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『龍ヶ崎市内大学と連携し、事故防止に関する心得や応急手当の意義や実際に身に付けよう』 ○夏場は水辺で活動する機会が増えることに伴い、事故の発生件数が多くなることを学習する。 ○体育科の授業で応急手当の意義について学習する。		体育
1日目	【龍流連携事業】 流通経済大学ライフセービング部（教授・学生）による救急救命講習を実施する。 ○講話 ・救急車要請から到着までの実態 ・校内のAED設置場所確認 ・近隣店舗や公共施設のAED設置状況について ・動画（ASUKAモデル）の視聴 ○救急救命講習 ・レサシアン・AEDを使用した実習（負傷者発見→救急車・援助要請→胸骨圧迫→AED使用） ・演習 ・認定証交付 ・アンケート実施	◆龍ヶ崎市役所 文化・生涯学習課 まちの魅力創造課 TEL：0297-64-1111（代）	体育 理科
2日目	水泳実習にて着衣泳と緊急時の対応について実習する。 ○水泳実習 ・着衣状態での入水と水泳 ・着衣状態から脱衣 ・着衣を活用した緊急避難 ・身近な物での緊急避難（ペットボトル バケツ） ・振り返り（意見の共有）		体育
事後活動	地域で開催される地域防災訓練にて、消防署職員等と連携し、参加者の補助をする。 ○救急救命講習 ・レサシアン・AEDを使用した手順の示範 ・参加者の実習補助		

【活動における留意事項】

- 水辺の事故発生が予想される夏休みを控えた6月～7月に実施する。
- 事後活動である地域防災訓練では、学習したことを想起して活動できるようにする。

取手市 文化財体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	児童・生徒が自ら課題をもち、課題を解決するために調べる。 全体テーマ 『取手市の歴史や文化を調べよう』 ○取手市の文化や郷土、歴史について、インターネット端末や書籍から調べる。	郷土や歴史、文化について調べ、興味のあること、身近にあるものを調べる。	SDG s 目標 4 等 社会
1 日 目	埋蔵文化財センターにおける資料や職員による講義等を通して課題を解決する。 ○埋蔵文化財センター職員による取手の郷土史の講義を行い、取手の文化、歴史、郷土への理解を深める。 ○埋蔵文化財センター職員から文献調査の方法等を教わることで、子供たちが自らの手で調べることができるようになる。 ○実際に歴史資料等にふれ、取手の文化、歴史、郷土への理解を深める。 (宿泊) 藤代スポーツセンター ○役割を決めて、責任を持って行動する。 ○文化財等に触れて感じたことを、グループで共有する。 ○マナーを守る。	◆埋蔵文化財センター 〒302-0007 取手市吉田 383 TEL:0297-73-2010 ◆藤代スポーツセンター 〒300-1511 取手市櫛木 15 TEL:0297-82-7200	
2 日 目	各自で設定した課題に沿って、郷土の水と緑にふれ、取手の自然や歴史への理解を深める。 ○大堀の渡しミニツアーで、利根川流域の自然や歴史を学ぶことで、郷土に関する理解を深める。	◆水とみどりの課 〒302-8585 取手市寺田 5139 TEL:0297-74-2141	
事後活動	今回のプログラムを通して、歴史や文化、郷土について学んだこと、見つけた課題、現在に与える影響等を発表する。 ○クラス内での発表 学んだことや感じたことを共有する。		

【活動における留意事項】

- プログラムを体験する前に調べた内容と、実際に体験して感じたことを比較しながら体験活動に取り組む。
- 一緒にプログラムを受けた仲間内で感じたことを共有する。

牛久市 自然・歴史・文学体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	児童生徒に各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『今と昔の自然や文化について学び、持続可能な牛久市の実現について考えよう』 ○牛久に住む生物と環境との関わりについて ○牛久の今と昔の歴史や文化の違いについて	- 各教科に関連する学習を行う。 - グループごとに探索を行う。	SDG s 目標 11、15
1 日 目	牛久シャトーでの体験活動を通して、課題を解決する。 ○見学を通して、神谷傳兵衛のワイン造りについて学ぶ。 ○AR 体験やジオラマ装置で、牛久シャトーについて学ぶ。 ○醸造道具の見学を通して、ワイン造りについて学ぶ。 【 カップ号、路線バスで移動 】 雲魚亭や住井すゑ文学記念館での体験活動を通して、課題を解決する。 ○晩年アトリエ兼住居として使用していた雲魚亭を見学し、小川芋銭について学ぶ。 ○小川芋銭が河童の絵を通して伝えたかったことを考える。 ○住井すゑの文学作品に触れ、当時の牛久の歴史や文化について学ぶ。 【各避難所】 防災意識の向上を目指し避難訓練等の体験を通して、課題を解決する。 ○段ボールベッドの作成や防災倉庫の確認を通して、避難時に必要な行動について学ぶ。 ○炊き出し体験を通して、災害時に必要な知識や技術について考える。 ○防災マップを再確認し、災害時の行動について考える。	◆牛久シャトー（神谷傳兵衛記念館） 牛久市中央 3-20-1 ◆雲魚亭 牛久市城中町 2690-3 ◆住井すゑ文学館 牛久市城中町 77 TEL:029-869-8350 ◆小中学校 ◆区民会館 (各避難場所)	社会 理科 生活 総合 国語 社会 理科 生活 総合 社会 総合
2 日 目	【 カップ号、路線バスで移動 】 自然観察の森で自然散策を行い、生き物を観察しながら課題解決を行う。 ○「自然観察の森」ネイチャーセンター周辺や野原で生き物の観察を行う。 ○昆虫の飼育セットを作り飼育方法や生態について学ぶ。 ○ネイチャーセンターにて、課題の解決を行う。(辞書や展示物、レンジャー（活動支援員）)	◆自然観察の森 牛久市結束町 489-1 TEL:029-874-6600	理科 生活 総合
事後活動	各自が設定した課題について、持続可能な牛久市の実現のために大切なことは何か、自分にできることは何かなど学んだことをもとに発表する。 ○プレゼン資料の作成 ○学年集会等での発表会 ○子供解説員として活動		SDG s 目標 11、15

【活動における留意事項】

- 各自課題解決に向けて、自分の課題と関連づけながら、体験活動に取り組む。

つくば市 つくば市の歴史や文化財等活用型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『茨城県（つくば市）の魅力を発見しよう』 （授業内容） ○「地域の自慢できるところを探してみよう」 ○「地域の歴史や文化、伝統等を取材してみよう」 ○「他の地域と自分の地域の自慢を比較してみよう」 ○「つくば市の大地（自然）と人々の生活の関わりを知ってみよう」 ※ジオパーク専門員による出前授業が可能 筑波山地域ジオパークエリアの石岡市、笠間市、つくば市、桜川市、土浦市、かすみがうら市を優先して対応しています。	・社会（関連教科） ・思考ツール「イメージマップ」等を活用し、自分やグループの考えをまとめる。 ・一人一台端末を活用し、調べたことや学んだことをまとめる。 ・専門員による出前授業をご希望の方は「筑波山地域ジオパークホームページ」を参照。 ◆筑波山地域ジオパーク推進協議会事務局 TEL:029-883-1111（代表）	・社会科副読本、パンフレット等を活用する。
1日目	筑波山ジオパークにおける自然体験活動を通して課題を解決する。 ○筑波山地域ジオパークの現地研修 ・筑波山中腹コース（筑波山梅林・筑波山神社） 岩石や土流跡から筑波山の成り立ちを紹介する 他、筑波山神社で文化を紹介 ・北条・小田地区を散策し、筑波山・宝篋山の恵みと歴史の紹介 ・上郷地区コース（川口公園・小貝川） 上郷地区から小貝川周辺を散策し、川が作る地形や土地利用を紹介 （宿泊） ○自分の役割に責任をもって行動する。 ○マナーを守る。	○専門員によるガイドをご希望の方は「筑波山地域ジオパークホームページ」を参照。 ◆筑波山地域ジオパーク推進協議会事務局 TEL:029-883-1111（代表） （宿泊） ◆つくば市筑波ふれあいの里 〒300-4211 つくば市臼井 2090-20 TEL:029-866-1519 ※8:30～17:00 ※ふれあいの里の宿泊施設では、食事の提供を行っていません。	
2日目	地域（つくば市）が誇る歴史や文化遺産等に係る施設の見学を通して課題を解決する。 ○各施設の見学（市職員による施設等の説明可） ・平沢官衙遺跡、小田城跡歴史ひろば、桜歴史民俗資料館、谷田部郷土資料館、出土文化財管理センター	○施設の利用に関しては、事前の下記担当課へ連絡。 ◆つくば市教育局文化財課 TEL:029-883-1111（代表）	
事後活動	茨城（つくば市：自分たちの身近）にある素晴らしい地域の自慢を大切に、20年後の子供たちに良さを伝えていくにはどうしたらよいか考えて発表する。 「地域自慢サミットを開こう」 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○学年集会や全校集会における発表 等	・ICT 端末、電子掲示板機能やスカイプなどを使用し他の学校との交流など。	  

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを想起しながら体験活動に取り組む。
- ・ 調べた内容だけでなく、現地で調査することで新たな発見ができるように地域の人や専門家の人とコミュニケーションを図り連携する。
- ・ 他の地域と自分の地域の自慢を比較することを意識して活動する。

守谷市 現代アート体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	児童生徒に各教科で関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『現代アート作品を通して社会の課題について考えよう』 ○「現代アートとは」 ○「SDGs とは」 ○「実際の作品」	・各教科で関連する学習を行う。	図工 美術 社会 特活 総合
1日目	ワークショップをととしてアートを体感する。 ○自主性と柔軟な思考力を高めるプログラム (宿泊) ○自分の役割に責任をもって行動する。 ○マナーを守る。	◆アーカススタジオ 〒302-0101 守谷市板戸井 2418 もりや学びの里内 TEL:0297-46-2600 ◆常総運動公園 (LANTERN CAMPING FIELD MORIYA) 守谷市野木崎 4700 TEL:0297-21-8889	
2日目	ワークショップをととしてアートを体感する。 ○アーカススタッフによる現代アート作品解説 ・過去のアーティストレジデンスプログラム作品について ・国内外のその他の作品について	◆アーカススタジオ 〒302-0101 守谷市板戸井 2418 もりや学びの里内 TEL:0297-46-2600	
事後活動	各自が設定した課題を解決し、現代アートをととして感じたり学んだことから社会が抱える問題やそれに対して取り組むべきことについての考えを発表する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○学年集会や全校集会における発表		

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを想起しながら体験活動に取り組む。

稲敷市 地域の魅力発見型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『稲敷市の魅力について知ろう』 ○稲敷市の自然環境について ○調べ方について ○体験活動と SDGs との関連 ○稲敷市の魅力の発信のされ方について調べる。		
1 日 目	地域探検・体験活動を通して、地域の良さを見出し、それぞれの課題を解決する。 ○グループ等に分かれての体験活動 ・霞ヶ浦までの散策・釣り ・野鳥の観察 ・虫・カエルなどの観察 ○民泊体験 (空き家をイノベーションした宿等での宿泊体験) ・地域の地域食材を使った調理実習（地域人材の活用） ・空き家での宿泊体験を通して、SDGs などについて考える	◆稲敷市生涯学習課 ◆稲敷市まちづくり推進課 TEL:029-892-2000	SDGs 目標 11、15 理科 社会
2 日 目	○地域の財産をどう生かすか考える。 ・地域のよさについてまとめる ・よさをどのように生かせるか考える ・よさをどのように伝えるか考える ・ネットを使った広報活動の仕方を体験する ・地域の文化（日本と海外の文化の違い）などについての講話を聞く	◆稲敷市生涯学習課 TEL:029-892-2000	国語 理科 社会
事後活動	○各自が設定した課題を解決し地域のよさの見出し方や生かし方、広く伝えていく方法などについてまとめ、考察したことを互いに発表する。 ・地域の財産マップづくり ・新聞や HP 等での広報活動		

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを想起しながら体験活動に取り組む。
- 地域の方との交流を図ることができるようにする。

かすみがうら市 郷土体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	児童生徒に各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『かすみがうら市の魅力を再発見しよう』 (授業内容) ○「かすみがうら市の歴史」 ○「かすみがうら市の昔と今の暮らし」 ○「かすみがうら市の生物」 ○「かすみがうら市の観光」	・各教科に関連する学習を行う。	社会 理科 総合 SDGs 目標 11
1 日 目	かすみがうら市の歴史や文化を学びながら郷土に関わる体験を行い、これからの市の未来について考える。 ○グループごとに分かれ、それぞれの場所で体験する。 ・かすみがうら市歴史博物館 ・かすみがうら市水族館 ・富士見塚古墳公園（埴輪作り） ・カヌー、サップ体験 ・帆引き船見学 ・霞ヶ浦環境科学センター（湖上体験） ・サイクリング体験 ・地元の企業見学 ・雪入ふれあいの里（自然観察） (宿泊) かすみがうら市農村環境改善センター ○宿泊協働体験を通して、親睦を深める。 ○それぞれの体験を振り返る。	◆かすみがうら市歴史博物館 〒300-0214 かすみがうら市坂 1029-1 TEL:029-896-0017 ◆かすみがうら市水族館 〒300-0214 かすみがうら市坂 910-1 TEL:029-896-0722 ◆富士見塚古墳公園 〒300-0201 かすみがうら市柏崎 1553-3 TEL:029-896-0174（展示館） ◆霞ヶ浦環境科学センター 〒300-0023 土浦市沖宿町 1853 TEL:029-828-0960 ◆雪入ふれあいの里公園 〒315-0069 かすみがうら市雪入 452-1 TEL:0299-59-7000 ◆かすみがうら市農村環境改善センター 〒300-0214 かすみがうら市坂 934-1 TEL:029-896-1138 (予約用)029-886-3307	宿泊可能 人数 50 人
2 日 目	かすみがうら市の歴史や文化を学びながら郷土に関わる体験を行い、これからの市の未来について考える。 ○グループごとに分かれ、それぞれの場所で体験する。 ・かすみがうら市歴史博物館 ・かすみがうら市水族館 ・富士見塚古墳公園（埴輪作り） ・カヌー、サップ体験 ・帆引き船見学 ・霞ヶ浦環境科学センター（湖上体験） ・サイクリング体験 ・地元の企業見学 ・雪入ふれあいの里（自然観察）		
事後活動	各自が設定した課題についてまとめ、学んだことや市の未来について発表する。 ○グループごとに発表資料作成 ○授業参観や集会等で発表		

【活動における留意事項】

- 1 日目と 2 日目は別の体験をすることにより、それぞれ異なる視点から課題解決に迫ることができるようにする。

つくばみらい市 まちの魅力体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『つくばみらい市の魅力を発信しよう』 ○「わたしたちの国土」 ○「わたしたちの生活と食糧生産」 ○くらしをささえる工業生産	・各教科に関連する学習を行う。	社会 国語 SDGs 目標 15
1 日 目	農業がさかんな地域における昔ながらの自然体験活動を通して課題を解決する。 ○古民家松本邸での農業体験 ・昔の道具を使った米作り体験 ・釜戸でのご飯炊き ・野菜の収穫体験 ○市の地図を参考に散策 ・古民家松本邸付近の自然散策 ・川の周辺の地帯から、みらい平周辺地区周辺にかけての散策	◆NPO法人古瀬の自然と文化を守る会 つくばみらい市 寺畑 336-1	地図アプリ
2 日 目	施設の見学を通して課題を解決する。 ○みらい平周辺の施設見学 ・空調設備等に関する最先端技術の見学・体験 ・実習用線路やホーム、トンネル（保線用機械整備用の検修庫）等の見学	◆高砂熱学工業株式会社 つくばみらい市 富士見ヶ丘 2-19 ◆東鉄工業株式会社 東鉄総合研修センター つくばみらい市 紫峰ヶ丘 2-1	
事後活動	各自が設定した課題を解決し、つくばみらい市の地域ごとの特徴など、学んだことから、環境保全とまちの発展についての考えを発表する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○学年集会や全校集会における発表 ○近隣の守谷市やつくば市などとの比較		

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを想起しながら体験活動に取り組む。
- 自然環境保全とまちの発展について、比較しながら体験できるようにする。

美浦村 縄文時代体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	児童生徒に各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『美浦村に残る陸平貝塚について縄文時代の歴史を知ろう』 (授業内容) ○「縄文時代とは」 ○「陸平貝塚とは」	・各教科に関連する学習を行う。	社会、総合 図工
1日目	縄文時代の土器によるものづくりや食作りを体験する。 ○縄文土器作り体験 ○縄文食作り（どんぐりクッキーなど）	◆美浦村文化財センター 美浦村土浦 2359 TEL:029-886-0291	
2日目	陸平貝塚を見学する。 ○陸平貝塚で発掘された貝について ・どんな種類の貝があるか調べる。 ・貝の中に何が混ざっているか調べる。		
事後活動	各自が体験したことを生かし、貝塚を通して学んだことから陸平貝塚の保護や保全についての考えを発表する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○学年集会や善行集会における発表		

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを想起しながら体験活動に取り組む。

阿見町 防災体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『自然災害に対し、命を守るためには何が必要か、何ができるのか考えよう』 (授業内容) ○「自然災害とは」 ○「最近の災害の歴史と救助活動について」 ○「災害時の自衛隊の活動について」 ○「阿見町のハザードマップについて」 ○「阿見町にある避難所の防災倉庫について」		社会 理科 道徳 総合
1 日 目	陸上自衛隊における様々な活動を通して課題を解決する。 ○自衛隊員と協働し、様々な体験をする。 ・災害派遣活動の体験談や災害に対する心構え、避難所での生活について話を聞く。 ・命を守る方法について（被災した時、他に助けを求めている人がいたらどうしたら良いか、被災した時でもできること等）ロールプレイを取り入れた形式等で考える。 ・背のうに入っている物から、日常的に準備しておく物や心がけておくことなどを学び考える。 ・人命救助セットなど、実際に使っているものを見る。 ○自分達で建てたテントでの宿泊 ・不自由な宿泊に対して、仲間と共に工夫をする。 ・飯盒炊飯や炊き出しなどを体験する。 ※状況によって宿泊ができない場合もある。	◆陸上自衛隊土浦駐屯地 〒300-0301 阿見町青宿 121-1 TEL:029-887-1171	実施時期 4～9 月 実施人数 30 人 ～40 人
2 日 目	陸上自衛隊での意見交換等を通してハザードマップ作成など、各自の課題を解決する。 ○地図判読を通して安全な避難ルートなどを学ぶ。 ○自分達が考えたことについて自衛隊の視点から意見をもらう。	◆陸上自衛隊土浦駐屯地 〒300-0301 阿見町青宿 121-1 TEL:29-887-1171	
事後活動	自分が設定した課題について解決したことや、この体験の中で学んだことについて発表する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○学年集会や全校集会における発表 ○家族でまとめた内容について共有 ○地域の人を招いて発表		

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを想起し、課題を持ちながら体験活動に取り組む。

河内町 農業体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	児童生徒に各教科で関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『河内町の自慢である【米】と【レンコン】の農業を体験し、みんなで協力し合い食べ物のありがたみを感じる』 (内容) ○農業とは ○河内町と農業 ○稲刈りとハス堀り	◆河内町役場農政課 TEL:0297-84-6975	社会
1日目	稲刈りを体験し、お米が食べられるようになるまでの大変さを体験する。 ○農家さんに説明をしてもらいながら稲刈り体験をする。 ○米作りの大変さや、やりがいを教えてもらう。 ○近隣の市町村に負けていない米の自慢。 (宿泊) ○普段とは違う環境で迷惑をかけない範囲で友情を深め、コミュニケーション能力の向上。	◆町内の農家さんの協力を得る。 ◆河内町役場農政課 TEL:0297-84-6975 ◆河内町東共同利用施設 つつみ会館 〒300-1403 河内町金江津 645-227 TEL:0297-86-2090 ※8:30～17:15	社会 家庭 宿泊可能 人数 50人程度
2日目	昨日とは違うハス堀りを体験し、食べ物大切さを感じる。 ○ハス農家さんに説明をしてもらう。 ※ハス堀りは児童生徒だと危険な可能性がある為見学。 ○ハスを洗う作業を体験する。	◆町内の農家さんの協力を得る。	社会
事後活動	各自が体験したことを生かし、農作業を通して学んだことから郷土の保護や、農業の今後について考えをまとめる。 ○グループ毎にプレゼンを行い、発表を行う。 ○農業体験活動を共有し、近隣市町村の学校と交流会を行う。		社会 道徳

【活動における留意事項】

- 事前に各自で目標を持って、達成できるように励む。

利根町 縄文土器作成体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科で関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『縄文土器を作ろう』 (内容) ○「縄文土器とは」 ○「縄文土器のつくり方」	・各教科で関連する学習を行う。	社会 図工 特活 総合
1 日 目	利根町歴史民俗資料館にて縄文土器について学習する。 ・縄文土器づくり体験 ・縄文土器の成り立ちについて考えてみる	◆利根町歴史民俗資料館 〒300-1615 利根町中谷 967 番地 ◆利根町生涯学習センター 〒300-1615 利根町中谷 967 番地 TEL:0297-68-3263	
2 日 目	利根町早尾花輪台貝塚にて縄文土器によるくらしについて学習する。 ・縄文時代の生活について ・縄文土器の活用について	◆利根町生涯学習センター 〒300-1615 利根町中谷 967 番地 TEL:0297-68-3263	
事後活動	各自が設定し学習したことから縄文時代のくらしや、史跡の保護についての考えを発表する。 ○グループごとにプレゼンを行い、発表する ○各自作成した土器を使って縄文時代の生活を体験してみる		

【活動における留意事項】

○事前に各自で目標を持って、達成できるように励む。

古河市 渡良瀬遊水地学習型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科で関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『自然の宝庫「渡良瀬遊水地」の秘密を探ろう』 (授業内容) ○「渡良瀬遊水地とは」 ○「渡良瀬遊水地の歴史」 ○「田中正造について」 ○「渡良瀬遊水地の野鳥、昆虫、植物、水質、治水」	・各教科で関連する学習を行う。	SDGs 目標 7 11 15 総合 社会 理科 道徳
1 日 目	渡良瀬遊水地における体験活動を通して課題を解決する。 ○開会式 ○グループ別学習 ・野鳥グループ ・昆虫グループ ・植物グループ ・水質グループ ・歴史グループ ・治水グループ ○閉会式 ※開会式から閉会式まで 90～120 分程度 ※荒天時はビデオ視聴等（最大 40 人、コロナ禍 20 人程度）または 2 日目のプログラムと入れ替え。 ※環境学習プログラムへの申込みは教育委員会を通し、決められた期日（4 月下旬）までに申し込む。 ○サイクリング体験 ・パノラマコース約 13km、約 2.5 時間 ・谷中湖コース約 6～10km、約 1.5～2 時間 ※自転車 70 台程度まで、大人用 4 時間以内 400 円 ※荒天時は施設体育館等で郷土かるた（許我かるた）体験（宿泊） ○古河市についての理解を深める。 ・郷土かるた（許我かるた）体験、郷土検定等の実施 ○自分の役割について責任をもって行動する。	◆（一財）渡良瀬遊水地アクリメーション振興財団 TEL:0282-62-1161 ◆古河市エイブルスポーツ交流センター 〒306-0047 古河市立崎 510-1 TEL:0280-22-3500 ※約 100 人宿泊可 ◆ネーブルパーク平成館 〒306-0221 古河市駒羽根 620 TEL:0280-91-2080 ※約 90 人宿泊可 ◆茨城県立さしま少年自然の家 〒306-0416 猿島郡境町伏木 2095-3 TEL:0280-86-6311	SDGs 目標 7 11 15 総合 社会 理科 体育 国語 道徳 特活
2 日 目	渡良瀬遊水地における体験活動を通して課題を解決する。 ○体験学習 ヨシ紙漉き 400 円、ストーンペイント 300 円、ミニヨシズ編み 300 円 最大 30 人程度（それぞれ 10 人） 研修室 3,000 円/半日 ○湿地資料館見学	◆湿地資料館 TEL:0282-62-5558 ◆体験活動センターわたらせ TEL:080-8818-9381	SDGs 目標15 総合 理科 図工
事後活動	各自が設定した課題を解決し、渡良瀬遊水地等で学んだことから自然の保護やこれからの発展についての考えを発表する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○学年集会や全校集会、授業参観等での発表 ○振興財団主催の発表会等における他校との交流		SDGs 目標15 総合 国語 道徳 特活

【活動における留意事項】

- 提案プログラムは 1.5 日を想定、提案と同内容であれば 30 人程度が望ましい。
- 各校の実情に応じ、提案プログラムの一部のみを行うなど、他プログラムとの併用も可能。

結城市 郷土文化遺産（結城紬）体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	児童生徒は、各教科で関連した学習を通して、課題を設定する。 全体テーマ 『結城市のユネスコ無形文化遺産「結城紬」の秘密を探ろう』 （授業内容） ○「着物の歴史」 ○「結城紬とは」 ○「結城紬ができるまで」	・各教科で関連する学習を行う。	SDGs 目標 9 社会 家庭 総合 特活
1日目	伝統工芸館における施設見学を通して、課題を解決する。 ○ガイドの解説付きの施設内見学 ・ 結城紬の歴史 ・ 結城紬の製作工程について（映像上映） ・ 結城紬の機織りの実演見学 ・ 様々な紬製品 （宿泊） ○結城市について理解を深める。 ・ 郷土かるた（結城王）取りの実施 ○自分の役割に責任をもって行動する。 ・ 集団生活及び係活動の実践 ○マナーを守る。	◆結城市伝統工芸館 〒307-0001 結城市結城 3018-1 TEL：0296-32-1108 平日※10:00～16:00 ◆茨城県立さしま少年自然の家 〒306-0416 猿島郡境町伏木2095-3 TEL：0280-86-6311	SDGs 目標 9 12 17 社会 家庭 総合 道徳 特活
2日目	紬工房での藍染め体験、機織り体験など様々な活動を通して、課題を解決する。 ○紬織職人の指導による体験活動 ・ 藍染め体験 ・ 地機織り体験 ・ 機織り体験（コースターづくり） ・ 結城紬着付け体験 等	◆本場結城紬郷土館 〒307-0001 結城市結城 116 TEL：0296-32-2121 平日※9:30～17:00 ◆紬の里 〒307-0001 結城市結城 2515 TEL：0296-32-8002 ※平日 9:30～17:00	SDGs 目標 9 12 家庭 図工 美術 総合 特活
事後活動	各自が設定した課題を解決し、結城紬の歴史や工程等、学んだことから、郷土の文化遺産の保護やこれからの発展についての考えを発表する。 ○個人、グループごとにプレゼン資料の作成 ○学年集会や全校集会、授業参観等における発表 ○関係機関（訪問地）への継続訪問（情報収集）		SDGs 目標11 国語 社会 総合 特活

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを活用しながら、体験活動に取り組む。
- 事後活動では、これまで学習した様々なスキルを活かし、プレゼン資料や報告書等を作成する。

下妻市 湖沼環境学習型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	児童生徒は、各教科で関連した学習を通して、課題を設定する。 全体テーマ 『下妻市のシンボル茨城百景「砂沼」の秘密を探ろう』 (授業内容) ○「茨城百景について」 ○「下妻市について」 ○「砂沼について」	・各教科で関連する学習を行う。	SDGs 目標11 社会 理科 総合 特活
1日目	砂沼湖畔の散策を通して、課題を解決する。 (3コース分かれて活動する。) ○「砂沼の自然」(生き物や植物)コース ○「砂沼の歴史」(歌碑や銅像等)コース ○「砂沼の環境」(現状や課題、取組等)コース * 実施時期、内容等については要相談 下妻市ふるさと博物館の見学を通して、下妻の歴史や先人等について学ぶ。 ・歴史 ・水とのたたかい ・農民の暮らし、暮らしの道具 ・ゆかりの人々 ・「横瀬夜雨の生涯」等 【宿泊】 ○自分の役割に責任をもって行動する。 ○マナーを守る。	◆下妻いいとこ案内人の会 商工観光課 ◆下妻市ふるさと博物館 〒304-0056 下妻市長塚乙 77 TEL : 0296-44-7111 ◆水海道あすなろの里 〒303-0045 常総市大塚戸町 310 TEL : 0297-27-3481	SDGs 目標11 15 社会 理科 図工 家庭 総合 特活
2日目	自然体験や自然学習を通して、川で安全に遊ぶ方法や危険について学ぶ。 ○鬼怒川フラワーラインにおいてEボート体験 ○河川敷のゴミ拾い * 実施時期、内容等については要相談	◆商工観光課	SDGs 目標11 13 体育 理科 総合 特活
事後活動	各自が設定した課題を解決し、砂沼の自然や歴史、環境等学んだことから環境保全・環境美化活動等についての考えを発表する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○学年集会や全校集会、授業参観等における発表 ○他地域の大きな河川がある学校との交流		SDGs 目標11 国語 社会 理科 総合 特活

【活動における留意事項】

- 事前学習で学習したことを活用しながら、体験活動に取り組む。
- 事後指導では、これまで学習した様々なスキルを活かし、プレゼン資料や報告書等を作成する。

常総市 防災体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	児童生徒が、各教科に関連した学習を通して、課題を設定する。 全体テーマ 『防災に関する関心を高め、基礎的な知識を身に付けるとともに、自然災害発生時の自分自身や周りの人々の身の守り方を考え、実践できる力を育てよう』 (授業内容) ○「自然災害の様子や被害」 ○「自分の住む地域の地理的な特徴」 ○「災害避難所とマイ・タイムライン」	・各教科で関連した学習を行う。	SDGs 目標11 13 社会 理科 総合 特活
1日目	水海道あすなろの里における防災体験活動を通して課題を解決する。 ○災害時想定の実験活動 ・応急手当訓練 ・マイ・タイムラインの実施 ・避難場所としての活用方法、課題や改善点の発見 (宿泊) ○防災士の協力のもと、防災キャンプ ・テントや簡易ベッド、パーテーション等の設営 ・野外炊飯 ・防災クロスロードの実施	◆水海道あすなろの里 〒303-0045 常総市大塚戸町 310 TEL:0297-27-3481 ※8:30～17:00 ◆常総市役所 防災危機管理課 (常総市防災士 連絡協議会) TEL:0297-39-6000	SDGs 目標11 社会 理科 体育 家庭 道徳 総合 特活
2日目	災害で被害を受けた場所の見学を通して課題を解決する。 ○被災地の見学 ・サイクリングロード：常総市鬼怒川両側堤防 ・決壊の碑：常総市三坂町 ・水害復興の碑：常総市若宮戸 ○水害の様子の見学 ・常総市地域交流センター (タブレット端末を使用したAR視聴機器によるハザードマップ確認、VRによる水害疑似体験、当時の新聞等の見学)	◆常総市役所 都市計画課 TEL:0297-30-6202 ◆常総市地域交流 センター（豊田城） 〒300-2706 常総市新石下 2010 TEL:0297-42-0169 ◆常総市役所 生涯学習課 TEL:0297-30-8880	SDGs 目標11 社会 理科 技術 道徳 総合 特活
事後活動	各自が設定した課題を解決し、防災や災害発生時の対応についての考えを発表する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成 ○学級、学年での発表 ○地域の方に向けての発表と交流 ○災害を受けた地域の学校との交流 ○自己評価		SDGs 目標 1 11 国語 技術 道徳 総合 特活

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを想起しながら体験活動に取り組む。
- 自分の住む地域の防災組織や防災体制を知り、地域の方と連携して防災に取り組む。

筑西市 河川体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	児童生徒に各教科に関連した学習を通して、課題を設定する。 全体テーマ 『鮭が帰ってくるまち筑西市を守ろう ～鮭の帰る川のために私たちのできること～』 (授業内容) ○「鮭の稚魚放流体験」2月上旬実施(前年度) 鮭の4年間の旅のスタートに立会い、鮭のたどるルートや河川の役割について、自分の研究テーマを考える。 ○鮭の遡上とその経路 ○河川の役割とその保全の重要性	・鮭の生態について学習をする。 ・地図アプリ等の航空写真を使って、鮭の川を下る、遡上するルートにある様々な施設について関心を持つ。 ・それぞれの施設について調べる。 ・各教科に関連した学習を行う。	SDGs 目標 6 14 15 総合 特活 理科 社会 道徳
1日目	鬼怒川を南下し、鮭のたどる道のりを確認して課題を解決する。 ○鬼怒川の鮭の遡上ルートをたどり、堰などのポイントで鮭の姿を確認する。(11月～12月の実施) ○鮭の遡上する姿から鮭の生命力に触れる。 ○各所にある堰の役割と、鮭などの水生生物のへ配慮した工夫に触れる。 ○河川の管理・保全についての取組を調べる。 ○鬼怒川の水質の維持の工夫を知る。 (宿泊) ・研究テーマごとに分かった事や考えた事を元に情報交換を行う。 ・宿泊施設内でのマナーを守る。	◆鬼怒川国道 50 号下を起点に国道 294 号線などを南下主な堰等 ・鎌庭堰(下妻市) ・石下橋(常総市) ・豊水橋(常総市) ◆下館河川事務所 TEL:0296-25-2161 ◆水海道あすなろの里 〒303-0045 常総市大塚戸町 310 TEL:0297-27-3481	SDGs 目標11 15 理科 社会 道徳 宿泊可能人数 150 人
2日目	鬼怒川の鮭の捕獲・採卵の体験・見学をする。 ○遡上してきた鮭を捕獲・採卵の様子を見学する。 鮭の泳いでいる様子や、大きさを実際に見たり、触れたりすることで鮭の逞しさを体感する。 ○鮭のふ化場を見学し鮭のふ化を手助けする様子を見る。 ○市内にある他の川(五行川)を散策し、鮭の遡上を確認する。(市内散策マップ有り)	◆鬼怒川(国道 50 号下) 鬼怒小貝漁業協同組合 TEL:0296-28-0035 ◆筑西市役所平面駐車場 五行川を北上 TEL:0296-24-2111 (筑西市役所代表)	SDGs 目標 14 15 理科 社会 道徳
事後活動	各自が設定した課題を解決し、鮭の回遊を調べる活動を通して学んだことから河川の役割、河川の保護や保全についての考えを発表する。 ○グループごとにプレゼン資料の作成を行う。 ○学年集会や全校集会における発表でお互いの学習内容を共有する。 ○鮭の帰ってくる川の PR と環境保全について学校 HP など発信する。 ○鬼怒川流域の学校との交流を行う。		SDGs 目標 6 11 14 15 総合 特活

【活動における留意事項】

- 体験にあたっては、河川での活動ということもあり参加者に緊急時の対応の指導と安全確保を最優先して対応する。また、天候等に応じて、雨合羽・長靴の防水対策、川沿いの気温低下に対応する防寒対策も必要である。
- 堤防である土手は、決められた場所での上り下りが必要。怪我につながる場合だけでなく、土手の破損につながる恐れがある。また、むやみに木や枝を折らない、生き物を採取しないなど環境への配慮も同時に行う。
- 鮭の遡上の確認のために筑西市の HP の情報もしくは漁協の方と連絡を取り、実施日を調整する必要がある。

坂東市 防災教育型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『水害などの自然災害から自分とまわりの人たちの命と安全を守り抜くために必要なことは何だろう』 (授業内容) ○日本における様々な自然災害の様子を調べる。 ○自然災害が起こる前と後について調べる。 「自分たちでできること」「地域で行なっていること」 「学校で行なっていること」「県や市の取組」 「国の機関や自衛隊の取組」	・各教科で関連する学習を行う。	SDGs 目標11 13 社会 理科 家庭 総合 特活
1日目	避難所体験や防災ゲーム等の体験を通して、自分やまわりの人たちの命と安全を守るために必要なことを理解する。 ○渡良瀬遊水池周辺の見学(宿泊) ○避難所体験 ・段ボールベット、パーテーションの設営と片付け ・非常食・非常用水運搬袋体験 ・野外炊飯 ○災害時想定体験活動 ・防災カードゲーム「このつぎなにがおこるかな？」(国土交通省) ・応急手当訓練 ○マナーを守る。	◆渡良瀬遊水池 ◆茨城県立さしま少年自然の家 〒306-0416 猿島郡境町伏木 2095-3 TEL:0280-86-6311 ◆災害備蓄品 坂東市役所交通防災課 防災危機管理室	SDGs 目標11 13 理科 社会 道徳 特活 宿 泊 可 能人数 300 人
2日目	マイ・タイムラインの作成を通して、災害時の避難に関する様々な知識を学びながら、もし災害が起こった場合にどのような行動を取ればよいのか理解する。 ○水害時想定体験活動(坂東市交通防災課) ・マイ・タイムラインの作成	◆坂東市役所交通防災課 坂東市まちづくり出前講座	SDGs 目標11 13 社会 家庭 道徳 特活
事後活動	各自が設定した課題を解決し、避難所体験やマイ・タイムラインの作成等で学んだことから、防災についての考えを発表する。 ○個人、グループごとにプレゼン資料の作成 ○学年集会や全校集会、授業参観等における発表 ○自己評価する ・災害を想定した避難所体験や防災ゲーム等の体験から、自分やまわりの人たちの安全を守ることにについて考えることができたか。		SDGs 目標11 13 国語 社会 総合 特活

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを活用しながら、体験活動に取り組む。
- 事後活動では、これまで学習した様々なスキルを生かし、プレゼン資料や報告書等を作成する。

桜川市 歴史探究型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『中世からの真壁の秘密を探ろう』 (授業内容) ○「日本の歴史 戦国の世から天下統一への関連」 ○「重要伝統的建造物群保存地区とは」	・各教科で関連する学習を行う。	SDGs 目標12 社会
1日目	国指定史跡「真壁城跡」における体験活動を通して課題を解決する。 ○真壁藍工房の指導者による藍染め体験 ・藍染めの歴史、伝統的な藍染めの方法についての学習 ・環境に優しく、生活に密着した藍染めについての学習 ○真壁城跡でのフィールドワーク ・中世の生活や使われていた土器についての学習 ・土塁や堀などの痕跡についての学習 ※雨天時要相談 (宿泊) ○自分の役割に責任をもって行動する。 ○マナーを守る。	◆真壁藍工房 〒300-4426 桜川市真壁町下谷貝 456-3 TEL:0296-55-1920 ◆桜川市教育委員会文化財課 (真壁伝承館内) 〒300-4408 桜川市真壁町真壁 198 TEL:0296-23-8521 ◆茨城県立さしま少年自然の家 〒306-0416 猿島郡境町伏木 2095-3 TEL:0280-86-6311	SDGs 目標12 社会 家庭 特活 学活 持ち物 白 い 布 (ハンカチ等、藍染め体験)
2日目	伝統的な町並み(国選定「重要伝統的建造物群保存地区」)における体験活動を通して課題を解決する。 ○伝統的な町並みのパネル展示 ・真壁街並み案内ボランティアによる重要伝統的建造物群保存地区の説明、散策 ・撮影した写真をもとにパネルを制作 ・解説パネルは真壁伝承館に展示可 ○歴史資料館見学、土器の整理、修復体験等 ・土器についての学習 (資料館バックヤード見学、拓本など) ・中世からの真壁の歴史についての学習 ○真壁藍工房の指導者による藍染め体験 ・1日目に染色体験したものの仕上げ (完成したものは持ち帰り)	◆真壁藍工房 〒300-4426 桜川市真壁町下谷貝 456-3 TEL:0296-55-1920 ◆桜川市教育委員会文化財課 (真壁伝承館内) 〒300-4408 桜川市真壁町真壁 198 TEL:0296-23-8521 ◆真壁街並み案内ボランティア(真壁伝承館内) 〒300-4408 桜川市真壁町真壁 198 TEL:0296-23-8521	SDGs 目標12 社会 家庭 特活 学活
事後活動	各自が設定した課題を解決し、中世からの真壁の歴史(真壁城、街並み等)について学んだことから真壁の歴史やこれからの生活様式についての考えを発表する。 ○グループ(または個人)で発表資料を作成 ○地域イベント等での学習		SDGs 目標12 社会

【活動における留意事項】

- 社会(歴史)で学習したことをもとに、興味関心をもって学習に取り組めるようにする。
- 体験したことをもとに、自らの考えをもち、まとめたことを発信できるようにする。

八千代町 農業体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	農業について、これまでの学習を想起し、関連するキーワードを取り上げ、思考ツールを用いたブレインストーミング（KJ 法など）により、課題を設定する。 全体テーマ 『リサーチ！これからの農業、未来の農業』 （授業内容） ○「八千代町の歴史」 ○「日本の食糧自給率」 ○「Society5.0 における農業」	・関連する領域から必要な情報を集めておく。 ・今後の農業に関する動向を把握しておく。 ・各教科で関連した学習を行う。	SDGs 目標 2 12 総合社会
1 日目	町内の農業関連施設訪問を通して、農業に関するこれまでの歴史や現在の取組について知る。 ○農業関連施設訪問 ・「歴史民俗資料館」見学 ・「クラインガルテン八千代」見学 ・農場見学 （宿泊） ○自分の役割に責任をもって行動する。 ○マナーを守る。	◆八千代町歴史民俗資料館 〒300-3572 結城郡八千代町菅谷 1017-1 TEL: 0296-48-0525 ◆クラインガルテン八千代 〒300-3565 結城郡八千代町松本 592 TEL: 0296-48-4126 ◆茨城県立さしま少年自然の家 〒306-0416 猿島郡境町伏木 2095-3 TEL: 0280-86-6311	SDGs 目標 2 12 総合社会
2 日目	流通施設の見学や農業体験を通して、農業が抱える課題と今後の可能性について考える。 ○農業関連施設訪問 ・集荷場（出荷場）見学 ・農業関係者の講話 ・農業体験		SDGs 目標 2 8 9 12 総合社会
事後活動	各自が設定した課題について、体験活動を通して学んだことをいかし、今後の農業について町内の農業関係者に提案することを目的に、収集した情報をまとめる。 ○プレゼン資料の作成 ○農業関係者への提案発表		SDGs 目標 2 8 9 12 総合社会

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを想起しながら体験活動に取り組む。
- 参加者に、プログラムの目標や見通しをもたせた上で活動を開始する。
- 協力していただける関係者に、訪問の目的や活動の行程などを周知する。

五霞町 避難所体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科に関連した学習を通して課題を設定する。 全体テーマ 『河川に囲まれている五霞町の避難所生活を探ろう』 (授業内容) ○「自然災害について」 ○「平常時にできること」 ○「町内の避難所を知ろう」	・各教科で関連する学習を行う。	SDGs 目標 5 6 13 社会 特活
1 日 目	中央公民館における避難所生活を体験し課題を解決する。 ○水害での避難を想定し、避難のためのマイ・タイムラインを作成する。 ○避難所生活を体験するため、中央公民館にテントを設営、宿泊をする。 ・野外炊飯ではなく非常食を体験 ・ラジオ体操を行うことで運動不足を解消 (宿泊) ○避難所生活についての理解を深める。 ○自分の役割に責任を持って行動する。	◆五霞町中央公民館 〒306-0307 猿島郡五霞町小福田 148-1 TEL:0280-84-1460 9:00～21:00	SDGs 目標 5 6 13 国語 社会 家庭 体育 道德
2 日 目	河川管理施設の見学を通して課題を解決する。 ○河川管理施設の役割を知ること、安全安心な日常が保たれていることを実感する。 ・カスリーン台風決壊の碑 ・河川事務所職員からの説明	◆利根川上流河川事務所 大利根出張所 〒349-1153 埼玉県加須市新川通 700-6 TEL:0480-72-8360 8:30～17:15	SDGs 目標 5 6 13 社会 道德 特活
事後活動	各自が設定した課題を解決し、河川に囲まれている五霞町での避難所生活のあり方についての考えを発表する。 ○グループ毎にプレゼン資料の作成 ○学年集会や全校集会における発表		SDGs 目標 5 6 13 国語 社会 総合

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを想起しながら体験活動に取り組む。
- 事後学習で学習したことを振り返り、他者に伝える活動を通して、災害時における判断力や実践する意欲や態度につなげられるようにする。

境町 自然と近未来体験型プログラム

	活 動 内 容	関連情報	備考
事前活動	各教科においての学習を通して、課題設定をする。 全体テーマ 『境町の自然と近未来体験をととして、自分の住む街の良さを再発見しよう ～あらゆる人と協力することの大切さと共に～』 (授業内容) ○「課題の解決に向かうための探究的な学習の良さの理解」 ○「集団生活における自己の役割と責任の自覚」 ○「境町の歴史」 ○「自分の住む街の歴史」	【育てたい力】 ○課題を設定する力 ○計画を立てる力 ・各教科で関連する学習を行う。	SDGs 目標17 総合 特活 道徳 社会
1日目	茨城県立さしま少年自然の家における自然体験活動(ASE)を通して、社会性を育成するための活動体験を行う。 グループで課題を解決しながら人間関係づくりを深め、社会性の育成や問題解決能力を向上させていくプログラムを実施する。 ○小集団(8～10人)で様々な課題を解決する活動を行う。(宿泊) ○自分の役割に責任をもって行動する。 ○お互い協力し合い、マナーを守る。	【育てたい力】 ○やりぬく力 ○協力して取り組む力 ○仲間と決定していく力 ◆茨城県立さしま少年自然の家 〒306-0416 猿島郡境町伏木 2095-3 TEL: 0280-86-6311 ※8:30～17:15	SDGs 目標15 17 総合 体育 道徳
2日目	自動運転バスを利用した班別活動(境町探訪)を通して、課題を解決する。 ○グループごとに協力し、計画したルートで施設を巡り、見学する。 【隈研吾氏デザイン施設】 ・さかい河岸レストラン茶蔵 ・道の駅さかい(さかいサンド) ・HOSHIIMON0100Cafe (S-ブランド) ・境町地場産品研究開発施設 (S-Lab) ・肅祭寶美術館 (S-Gallery) ・モンテネグロ会館 【文化村付近施設】 ・境町歴史民俗資料館 ・境町サッカー場(境町上小橋 558) ・境町ニコニコパーク(境町上小橋 540) ・境町アーバンスポーツパーク(境町上小橋 560-3)	◆自動運転バス(乗車料金:無料) ・最大乗車人員: 8名 ・便数: 18便 ・停留所数: 18箇所 ◆さかい河岸レストラン茶蔵 境町 1341-1 不定休 TEL: 0280-87-5011 ◆道の駅さかい(さかいサンド) 境町 1341-1 不定休 TEL: 0280-81-3101 ◆HOSHIIMON0100Cafe (火 休) 境町 1459-1 10:00～18:00 TEL: 0280-33-3118 ◆境町地場産品研究開発施設 境町 1466-2 10:00～17:00 TEL: 0280-23-4148 ◆肅祭寶美術館 (月・火 休) 境町 1455-1 10:00～17:00 入館: 330円 TEL: 0280-23-4148 ◆モンテネグロ会館 (日・月 休) 境町上小橋 446-4 11:00～16:00 TEL: 050-3138-2885 ◆境町歴史民俗資料館 (月 休) 境町西泉田 1326-1 9:00～16:30 入館: 無料 TEL: 0280-81-3353	SDGs 目標 9 17 総合 社会 道徳
事後活動	各自が設定した課題を解決し、境町の自然と近未来について学んだことから、自分の住んでいる街の歴史・文化・産業について興味関心をもち、よりよい郷土への関わり方をまとめ発表する。また、様々な活動を通して、望ましい人間関係の深まりについて考える。 ○個人、グループ毎にプレゼン資料を作成する。 ○授業、学年集会等における発表会を行う。 ○望ましい人間関係づくりのスキルを継続的に活用する。	【育てたい力】 ○成果を検証する力 ○伝える力 ○地域の良さを思う心 ○社会につながる心、つなげる力	SDGs 目標11 17 総合 国語 社会 特活

【活動における留意事項】

- 事前活動で学習したことを活用しながら、体験活動に取り組む。
- 事後活動では、これまで学習した様々なスキルを活かし、プレゼン資料や報告書等を作成する。